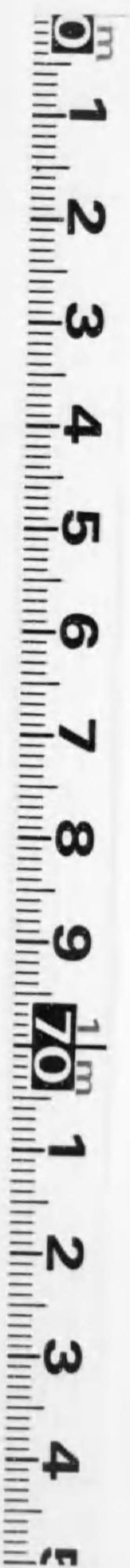


522

176



始



Printed by Robert Zincke, W.A. Engraver to Robert Lloyd

And once again a lot o' the sunniest o' the

Wife, bring on, lady better to our side;

And not a trifle, nor a little, —
Sly

Upon my life, I am a lord indeed;

I shall sweet sorrow and I shall think —

I do not sleep; I see, I hear, I speak;

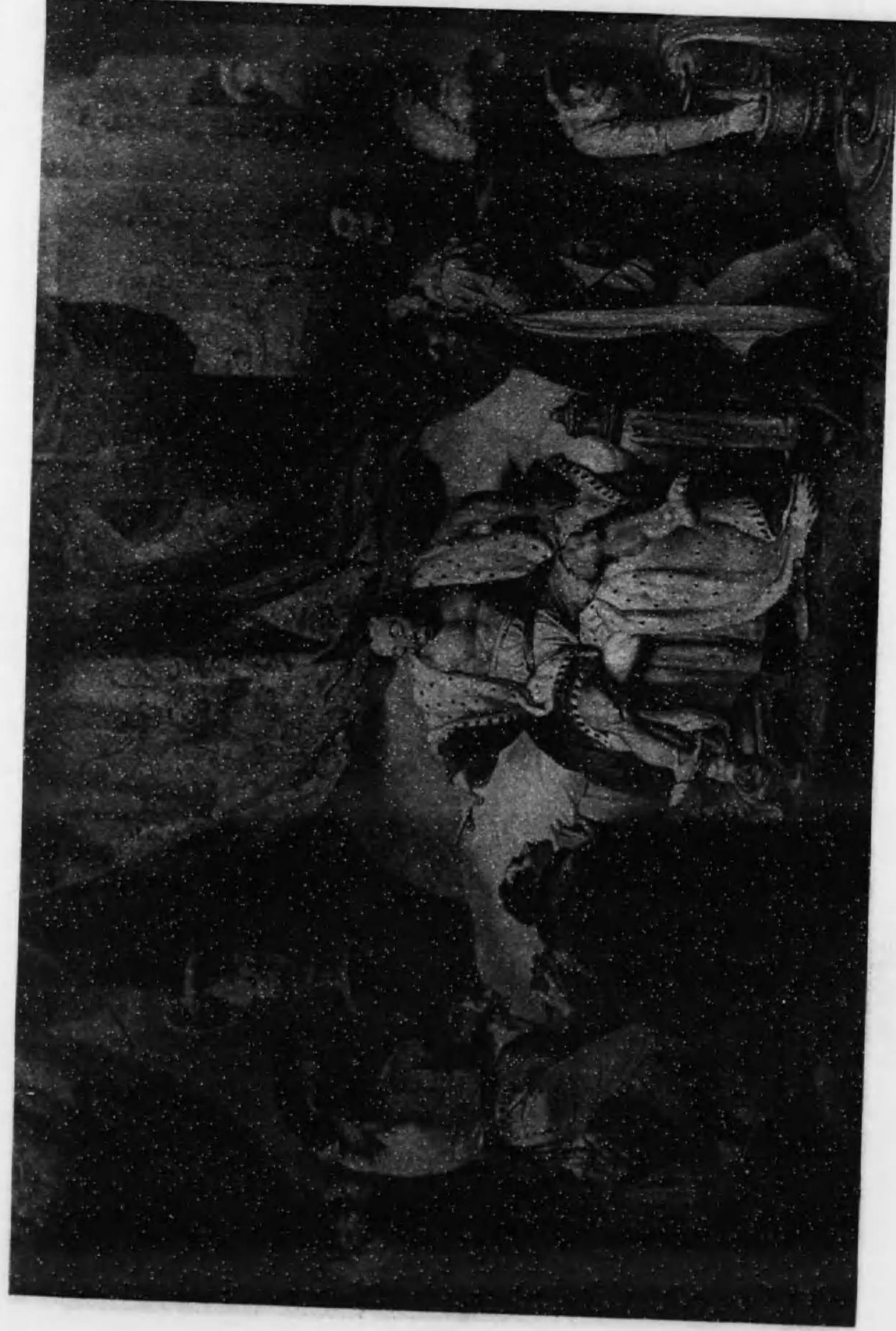
Oh, do I dream or have I dream'd all now?

And I a lord? and have I such a lord?

Sly

INDUCTION SCENE 3

THE TAMING OF THE SHREW





志
馬
身
心

坪内逍遙

大譯

13. 3. 29

購求

THE TAMING OF THE SHREW.

INDUCTION. SCENE 2.

Sly

Am I a lord? and have I such a lady?

Or do I dream, or have I dream'd till now?

I do not sleep: I see, I hear, I speak;

I smell sweet savours, and I feel soft things:—

Upon my life, I am a lord, indeed;

And not a tinker, nor Christopher Sly.—

Well, bring our lady hither to our sight;

And once again, a pot o' the smallest ale.

Printed by Robert Smirke, R.A. Engraved by Robert Thew.



Miss Lily Brayton as *Katharina*

Rita Martin, Photo.

縮言

沙翁の作と推定せられたる脚本三十七篇の中に、其傑作を以て目すべからざると同時に、其純なる作とは見做しがたきもの若干あり。此『玄やく馬馴らし』の如きは其一なり。

此作には、例の如く、前後の二種ありて、二つながら傳存せるが、前なるは蕪雜粗笨にして、後なるはや、洗練の加は

りたるものなり。前なるは、作としての價值頗る低く、通例、ピールもしくはグリーンなどの筆に成れるならんと推測せらる。後なるは、現に沙翁の作と見做されざる本譯書の原本なるが、これとても、喜劇としては、『間違ひの喜劇』など、同列に、フアース級に屬せしむべきものにして、沙翁の傑作ならぬことは勿論なるを、敢て此集中に加へたるには、聊か故あり。

其第一の理由は、此作が沙翁前派の粗笨なる喜劇、即ち我大阪俄などと其趣味及び形式を多少同うせるものゝ代表作にして、當時最も廣く歡迎せられしものなるがゆゑ

に、英國古劇の一標本として紹介しておくことを便宜と考へし爲なり。第二の理由は、開幕劇(序劇)と本筋の劇とを關聯せしめて、劇中劇の趣向を大規模に結構したる點に特色ありて、當時の劇の娛樂本位なりしを示すに適當なる作と思惟せし爲なり。第三には、此作は、其作意の頗る淺露にして不自然なるにも拘らず、今も尙列國の好劇者間に歡迎せられて、屢上演せられ、殊に、カサリン、ベトルキオのいきさつと序劇とは、既に嘗て翻案せられて我劇場にても演ぜられ、多少話柄ともなれるなれば、沙翁劇の譯集中に此作を缺如せんは、不備の感なきにしもあらざるべし。

次に、此作が、今日に在りては、自由の本源とも、女權の發祥地とも稱せらるゝ英國の本土に於てだに、三百數十年前の其封建時代には、夫唱婦隨を不磨の金則として認受し、男を尊しとし、女を卑しとし、夫を君主とし、妻を臣婢とし、甚しきに至つては、妻を家財もしくは家畜の如くに取扱ひしことある由を證據立つる點に特色あると同時に、かかる作の、今も尙、英米其他の好劇者間に歡迎せらるゝは、夫となれる男性の衷心には、廿世紀の今日と雖も、尙依然として少からぬ專制的要求の潜在しつゝあることを證據立つるものとも見るべく、隨つて理想的男女同遇の實

現し易からざるを想像せしむる點に特色あるも面白し。要するに、此作を「傑作集」中に收めたるは、藝術品としての價値以外の理由に因る。

沙翁の作と見做さるゝ後の、作の初めて印刷に附せられしは一六二三年にして、例の第一フォリオが其最初の公刊なれど、それよりも以前即ち一五九四年と一五九六年と一六〇七年との三回に、所謂前の作が、既に、四つ折本の體裁にて出版せられをれり。此古脚本は、*The Taming of A Shrew* と表題したるものにて、作者の名は見えず。其後

も屢、復刊せられて、彼のユリヤーの『沙翁文庫』或はハズリット
のそれなどの中に收められて、幸ひに今日までも傳存せ
り。然れども譯者は未だ其原本を閲するに及ばざれば、
爰には間接引抄によりて比較の概要を記す。

前の作即ち古脚本と沙翁の筆の加はれる現在の作とに
ては、種々の點に頗る著しき相違あり。只筋立だけは、殊
にカサリンとペトルキオとに關する部分は、殆ど全く同一な
りといはんも差支へなけれど、副への筋、人物の數及び名、
其性格、其臺詞の内容等は、古脚本と沙翁のとは、著し
き逕庭あり。前者にては、カサリン以外の名は悉く沙翁の

それらとは異なれり。又、幕割もなく、場割もなし。次に、
處は、沙翁の作にては伊太利のパデュアなるが、古脚本にて
は希臘のアセスとなりをれり。又、富豪バプチスタ・ミノーラ
に相當するアルフォンゾは、女子二人の代りに、女子三人を
有し、隨つて其求婚者も、其求婚者に從へる僕共も、恰もそ
れに均齊するやうに、おの／＼三人より成れるなど、所謂
教訓劇モラル・ドレマの慣手段そのまゝなるが、いづれも其性格上に何
等の特色もなく、すべての點に於て、沙翁の作に劣れるこ
と論なし。但し泥酔せる賤者を主人公としたる序劇インダクションの
筋だけは、古脚本の方首尾相應して一貫せり。左に、ハズ

リットの『沙翁文庫』より抄録せるものによりて、沙翁の作との異同を検せん、

「古脚本にては、酒店の主婦ホステスの役が酒場の給仕人タフスマとなりをれり。又、醉漢の名は同じくスライなれども、特に「乞食」と附記しあり。而して、沙翁の作にも、第一フォリオ版までは、此「乞食」といふ附記を保留したり。現行本に、領主の臺詞中に「此乞食め云々」とあるは、明かに古脚本の句の名残なるべし。次に、沙翁の作にては、スライに關する事件は第一幕第一場を限りに斷絶し、其以後には全く所見なきに、古脚本にては、尙本筋の劇を縫うて、處々に挿入せられあり、

且つ第五幕の末に至りて、彼れが領主の命によりて、其熟睡中に、再び以前のむさき服に着替へしめられて、元の酒場前へ運び戻され、そこにて以前の給仕人に呼起されて「さては今のは夢にてありしか」と駭き呆るゝといふ結局までも示しあり。かくありてこそ劇中劇の脚色は具足すといふべけれ。沙翁の作が此點に於て不具なるは如何なる故にや。按ふに、此劇中劇の趣向は、數回の復演によりて、當時の觀劇者には、既に備さに知れわたりゐたるべければ、沙翁が改作せし頃には、本筋の劇の終ると共に觀衆は大抵退出せしなるべく、随つてもはや舊の如く序

劇の筋を演じ通す必要はなかりしならん歟。蓋し泥酔せる賤者を其熟睡中に或貴族が殿上に拉致して、戯れに之を欺きて貴人として待遇し、後又泥酔せしめて、元の處へ運び戻し、南柯一夢の奇に駭き呆れしむといふ筋の話は、古くば、既に『アラビヤ夜話』の中にも見えたるが、チャールス五世の逸話としても、又バアガンデーのフリップの逸話としても、又韃靼王に關する話としても知られ、沙翁時代には廣く人口に膾炙しをりしが爲もあるべし。

沙翁の改修は、果して此作の如何なる範圍にまで及べるかに就いては、學者の説一定せざれど、少くとも此序劇の

全部及び本筋の劇の第二幕第一場の主要部、第三幕第二場のそれ、第四幕の第一、第三、第五場、第五幕の第二場等は、すべて沙翁の筆に成れるものならんとは、ファーニヅル博士の推定なり。就中、序劇は、其沒韻律語の句法といひ、其特色ある詞藻といひ、作者の故國たるウオーリックシャー地方に關する種々の暗示といひ、彼れが感興を以て物したるや疑ひを容るゝの餘地なしとも評せらる。例へば、酒店の所在地をウィンコットとなせるは、恐らく彼れの生誕地ストラットフォードよりは僅かに四英哩なりしウィンコット村か或は彼れの母メリー・アーデンが住へりしウィルムコート（又の名ウィンコ

ト村を思ひ寄せたるが爲なるべしといふ。尙、其昔、手醸り麥酒によりて有名なりし村にウイルンコートといふがありきと説ける學者もあり。酒店の主婦の苗字ハケットも現にウインコット村の古記録に見え、又スライといふ名も沙翁時代のストラットフォード附近には普通なりきといふ。

此劇は、沙翁の作ならぬ古き脚本の頃に於て、既に屢、上演せられ、且つ屢、好評を博し、廣く公衆に愛好せられたりき。然れば沙翁が此作を改修せしは、主として興行主の要求に出でしなるべし。即ち此人氣ある劇をして漸く進遷

し行く時代の好尚に随伴せしめし、其脚本としての壽命を延長せんとせしに外ならざるべし。故ウイリヤム・ウインタ―氏のいふ所によれば、沙翁の同人らも此作を、或はブラックフライヤース座に於て、或はニューキントン・バツツに於て、或は地球座に於て、上演せし由なるが、其上演模様の消息の一も傳はらざるは遺憾なり。沙翁死後も、此劇の人氣は衰へざりきと見え、或は此作の後段として作られしフレッチャーの“*The Tamer Tamed*”（『馴らし手馴らし』）と相並べて演ぜられなどして十七八世紀に及びたり。但し例のペビスの日記中に見えたるものゝ如きは“*The Taming of A Shrew*”と書き

たるを見れば、沙翁の改作を更に多少古脚本へ引戻したるものなりしが如し。尙彼の一七五四年に名優ガーリックがドルーリー・レーンにて上演せし「カサリンとペトルキオ」と題したるものゝ如きも、沙翁の作さながらにはあらずして、脚色にも詞句にも取舍添削を施したる上に、序劇の全部とピヤンカに關する挿話とを悉く除き去りたるものなりき。而して此ガーリックの改作本は其後も久しく用ひられ、或は今日も尙用ひらるゝならん。ほゞ現行本通りに復活されての上演は一八四四年に於けるロンドン市ヘーマーケット座のそれを始めとす。俳優ベンジャミン・ウエプスターの努力に因

れりといふ。されど藝術としての價値ある上演は一八五六年のサドラーズ・ウエルにての名優ホエルブスのそれを最先とすべく、ホエルブスはスライに、ヘンリー・マーストンにはペトルキオに、ミス・アトキンソンはカサリンに扮して成功せり。十九世紀、廿世紀に入りての記憶すべき興行は、一八六七七年のエレン・テリーと故アーギングのカサリンとペトルキオ、一八七〇年のミス・アレンとフェヤクロフのそれ、一八七五年のヘレン・バリーとウィリヤム・リグノルドのそれ、一八八〇年のベラ・ベートマンとヘンリー・ネザルのそれ、一八八八年のエーダ・リハンとジョン・ドリュエーのそれ、一八九三年と一八九七年の同じくエーダ・リハンとジョー

ルジ・クラークのそれ、一八八七七年のミセス・ピヤボム・ツリーとハーバート・ピヤボム・ツリーのそれ、一九〇四年のリリー・ブレートンとオスカー・アシユのそれなどなるべし。

米國の劇壇にては、ブースの頃までは、ガーリックの改作を用ふる習ひなりしが、一八八七七年に至りて、オーガスチン・ダリットはじめて現行本通りを上演するの端を發きたりといふ。尙英語國以外の劇壇に於ける此作の上演に關してもいふべきこと多少あれど、くたくしければ、今は略す。

いふまでもなく、此劇中の主なる役はペトルキオとカサリン

となるが、二役ともに、殊にペトルキオに至りては粗暴なる活動を特色となせるが故に、夥しき筋肉的勞力に堪へざるべからず。或俳優の如きは、強ひてカサリンを引立て去る場のペトルキオに扮して、力任せにカサリンに扮せる女優を投出すを例とせしかば、該女優の舞臺にて該男優を怖るゝこと劇のカサリンが劇のペトルキオを怖るゝさながらなりきといふ奇談もあり。俗衆の此劇を喜びし一つの理由はかゝる藝術以外の見どころにも存せしならん歟。次に、二役共に、今の觀劇者の同情を牽かんには、餘りに粗なる心理描寫より成りて、活きたる性格らしき深みをも

温みをも缺けり。例へば、カサリンの豹變の如き、如何にも心からの改悛らしきだけに、唐突に過ぎて不自然なり。ペトルキオとて、作の表面に見えたる限りにては、不羈放縦なる一個の粗暴漢たるに過ぎずして、今人の心には不快感を覚えしめざるを得ざる言動多し。故に、古來名優の此二役に扮するや、大抵作意以上又は以外に出で、自家の新解釋を補填しつゝ、かくして臺詞に見はれたるよりも多少複雑なる性格のものとして演ずるを例とせり。例へば、ペトルキオの衷情を、其口にし動作にする所よりも遙かに紳士的のものとし、彼れの粗暴なる云爲は主とし

てカサリンを善化せんための好意の方便に外ならざるが如くに解するが如きは其一なり。又、カサリンに關しても、或は彼女の本來性を極めて可憐にして温良なりと解し、其倨傲、其躁暴、其剛愎等は、我儘育ちの然らしめたる皮相の習癖に過ぎずと做し、假令戀愛の爲にたりとも、他の支配を受くることを屑とせずと見識張れる其心の底に、其實は、切りに男性の愛に憧れ、寧ろ絶對服従をも敢てせんとする意向を半無意識の間に懷抱せる女として演じつゝ成功せしエーダ・リハンの如きあり。總じてかゝる古典となれる作は、所謂名優の型によりて其缺陷を補填せら

れ、只讀みたるのみの時とは著しく趣味をも面目をも異にして上場せらるゝ習ひなることを記憶すべし。

大正九年九月下旬

譯

者

識

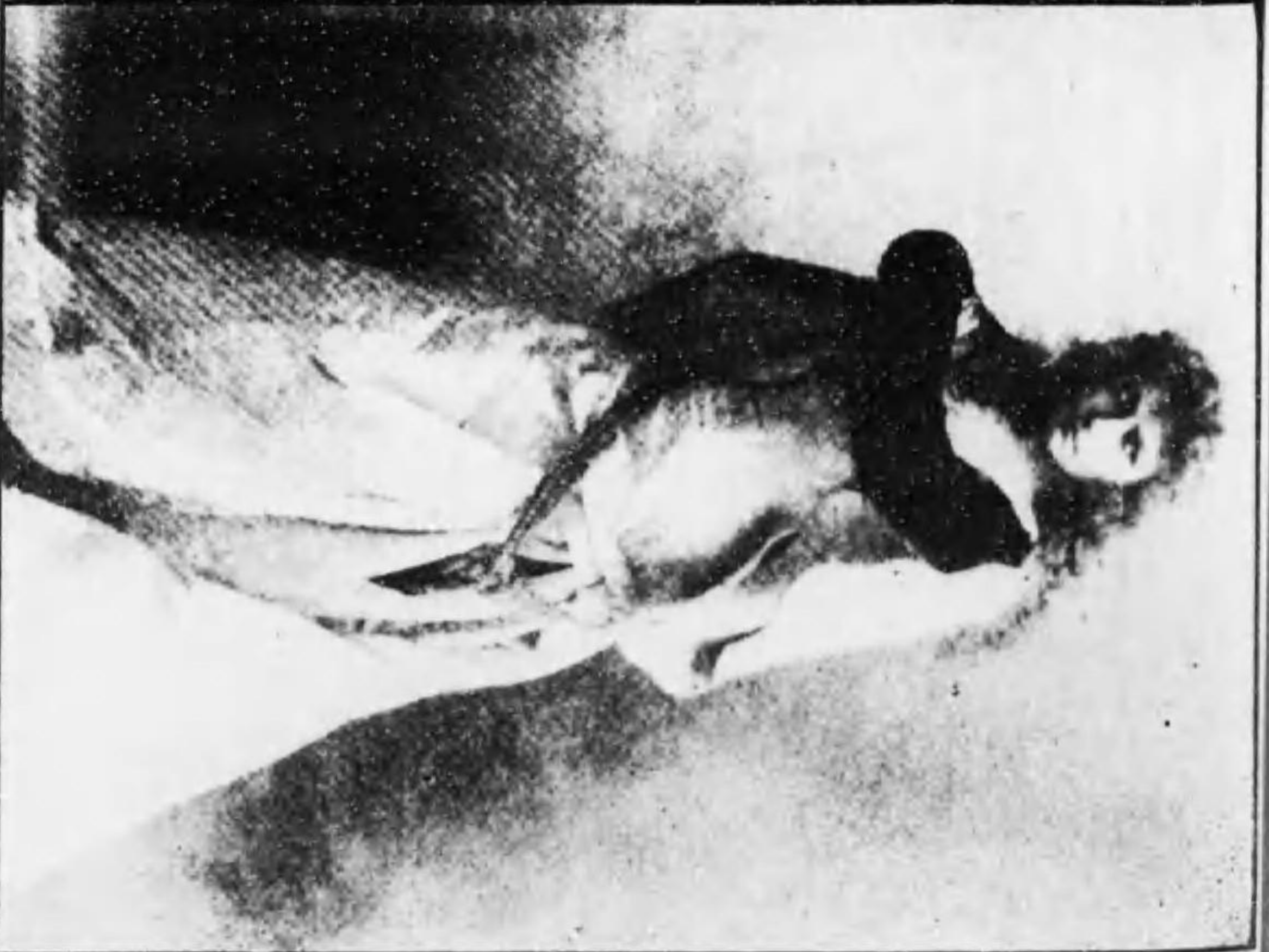


From a Photograph by Sarony, N. Y.

Ada Rehan as Katharine.

"They call me Katharine that do talk of me!"

Act II, Sc. I.



From a Photograph by Otto Surenz C., N. Y.

Elsie Leslie as Katharine.

"I'll see thee hang'd on Sunday next!"

Act II, Sc. I.

登場人名

領主。

クリストファー・スライ、鑓掛屋。

酒店の主婦、侍童、俳優ら、獵師ら、
序劇に出づる人物。
従者、家來等。

バプチスタ・ミノーラ、パデュア市の富豪。

ギンセンシオ、ピザ市の老紳士。

ルーセンシオ、ギンセンシオの男、ビヤンカの情人。

ベトルキオ、エローナ市の紳士、カサリナの求婚者。

グレミオ

パデュア市の住人にして、ビヤンカの求婚者。

ホオテンシオ

ツラニオ

ルーセンシオの従僕。

ビオンデロー

グルミオ

ベトルキオの従僕。

カーチス

村學究。

カサリナ、雷娘

バプチスタの女。

ビヤンカ、其妹

未亡人。

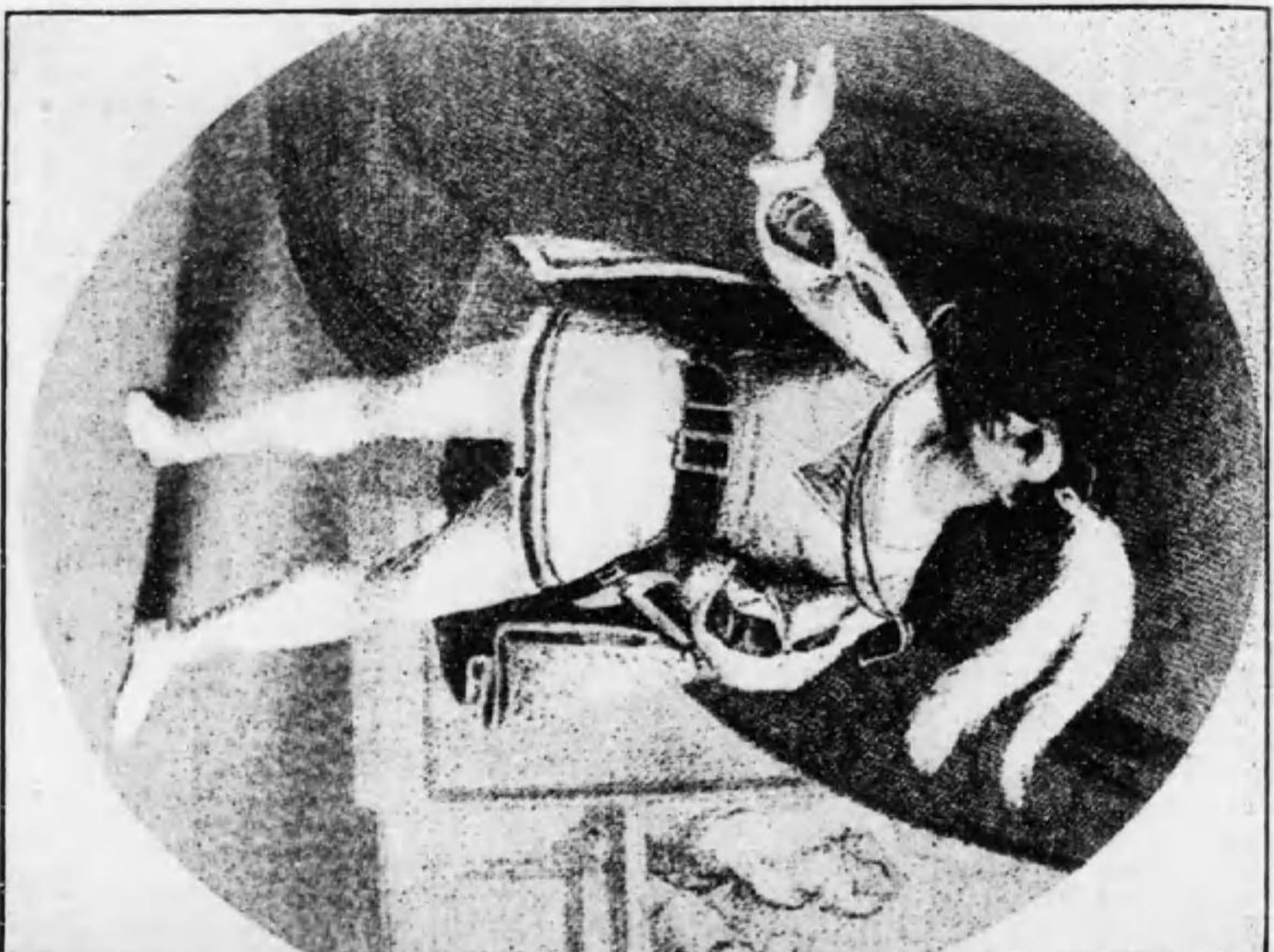
裁縫師、小間物商、バプチスタの家僕、ベトルキオの家僕。

場所

パデュア及びベトルキオの別墅。

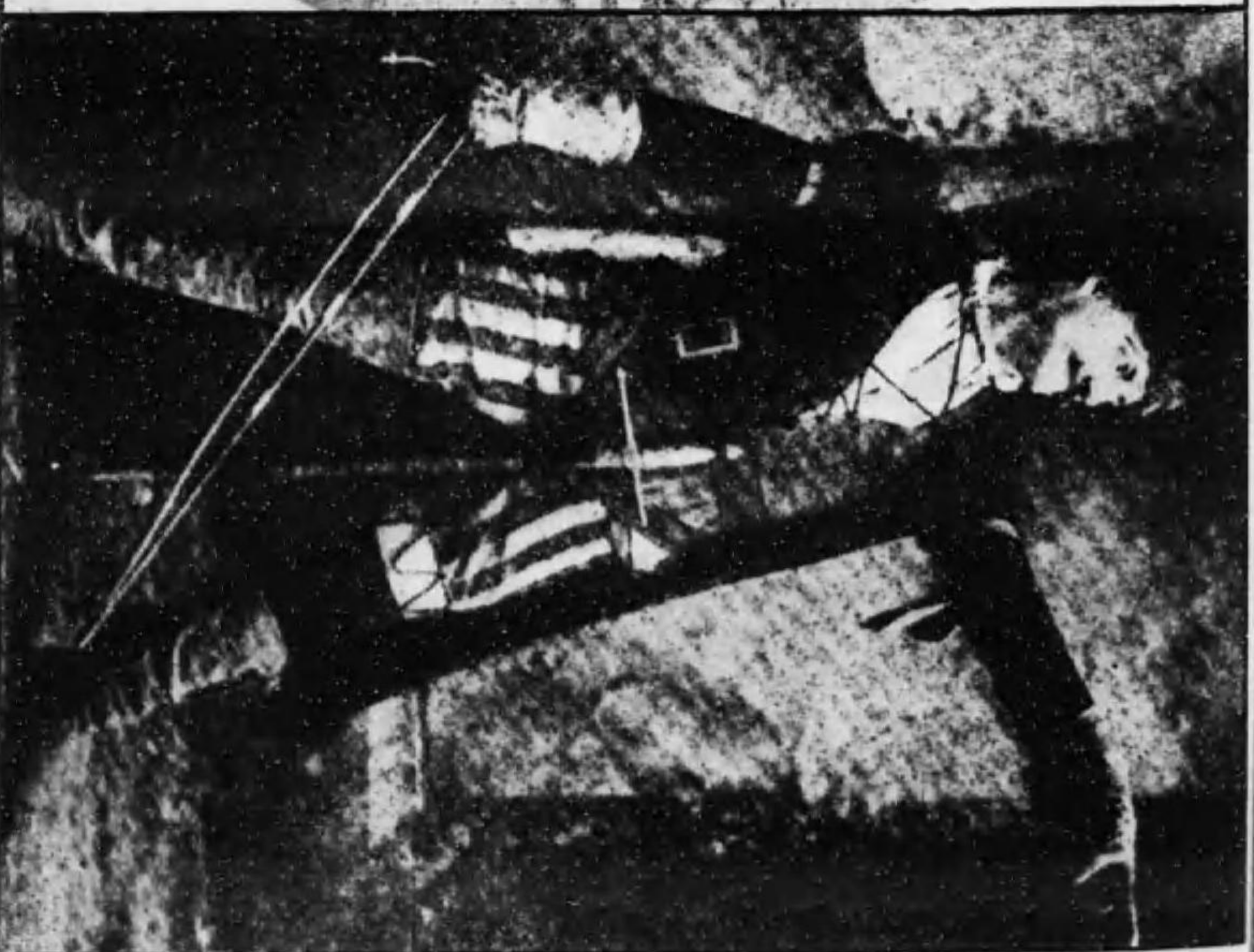
登場人名

* * * * *



From an Old Print.

James E. Murdoch as *Petruchio*.
"Tush, tush! Fear boys with lugs!"
Act I, Sc. 1.



From a Picture by Seymour, N. Y.

John Drew as *Petruchio*.
"I will be master of what is mine own!"
Act III, Sc. 2



まやく馬馴らし

序劇

第一場

荒れた丘の酒店の前

酒店の女主と鑄掛屋の
 スライと出る。スライは泥酔して
 ぬる。

スライ
 撲り附けツちまふぞ、うぬれ。

女主 お仕置だに、悪黨！

スライ 碌でなし婆アめ。スライさまの御一門に悪黨なんかあつて堪るか！

年代記を見て見ろ。おらツちはリチャード征服者さまと一しよにやつて来たんだ。だから、敢て駄言を要せずだ。浮世はともなれだ。よいさつさだ！

女主 破したコップの代も償はないのかい？

スライ 出さねえ、銅一つだつて。「歸んなく、エロニモー。冷い寢床へ往つて、

温まんなさい」といやアがらア。

女主 ちや、此方にも爲様があるよ。第三警察部のお役人さんと呼んで来なくちやならない。

女主 入る。

スライ 第三だらうが、第四だらうが、第五だらうが、びくりともするこツちやアね

えや。警吏が来りや、見事に應對してくれら。来るがい、や、似つこらしくやつて来やがるがい。

と言ひく、スライ眠る。

獵師の角笛の聲が聞える。やがて山獵歸りの一領主が獵師及び従者を連れて出る。

續

獵師、犬どもをよくいたわつてやれ。ブラック・メリマンめは、可哀さうに、泡を吹いてゐる。クラウダーは、あの聲の好い牝と一しよにしとけ。汝は、シルヴァアめが、あの生垣の隅のところ、とうとう嗅當てをつたのを見てもたか？ 彼犬は、中々、二十ポンドそこいらには代へられんわい。

一獵

ですが、彼犬には、ベルマンだつて、決して負けやいたしません。メリマンはまるツきし見當の附きませんのをも捜し出しました。今日も、二度まで、一等覺束なかつたのを嗅當てましたのです。たしかに彼犬のはう

が優等でございます。

馬鹿をいへ。エコーだつて、脚さへ速けりや、ベルマンの十二疋分と相当ふくらむのもんだ。……とにかく、どいつにも善く物をくはせこやれ。明日また出掛ける積りだからなう。

一 獵 かしこまりました。

領 (ふとスライを見附けて) 何だこりや? 死人か? 醉漢か? え、息がある

か?

一 獵 へい、生きとります。酒の勢ひで、ぐうぐう睡込んでゐるんでございます。

でなきや、逆も冷たくツて臥ておられたもんぢやございませう。

領 けしからん獣だなう! まるで豚のやうに寝込んでゐる! ……あ、物凄死よ、汝に似てるといふ眠りも、かうなると、只もう、むさくるしく穢らしいものだなう! ……おい、おれは此醉漢に悪戯をして見よう

思ふが、汝たち、どう思ふ? 若し此奴を此儘邸の寢臺へ連れていつて、美服を纏はせたり、指輪をはめさせたり、いろく旨い物を準備しといて、目を覺した時分に、立派な侍者共に給仕させたりしたら、此奴、自分が乞食であつたことを忘れをるまいか?

一 獵 へい、そりやもう、きつと、忘れをるに相違ございませぬ。

二 獵 目を覺しました時分に、嘘不思議な心持をいたしをるでございませう。

領 きつと、詭へ向の旨い夢を見た時や、たはいもない空想に耽つてる時のやうになう。……ぢや、伴れてつて、うまくやれ。窓と予の最上等の部屋へ擔

ぎ込んで、四方の壁には、邸に有りつたけの淫靡な油畫を掛けとけ。それから、此汚い頭を、温めた香水でよく蒸した上に、尙香木をも焚いて、室内に佳い香りを薫きこめろ。又、目を覺ましたら、すぐと快い楽しい音楽を奏する様にしとけ。で、若し何か言ふやうであつたら、すぐに、恭しく小

一 聲

聲で「何御用であらせられまするか？」といふんだ。又一人は薔薇水を湛へた中へ花片を浮かせた銀盤を手に捧げ、それからもう一人は水瓶を、又もう一人は花模様の附いた手拭を持つて傍に控へてゐて、「お手をお冷し遊ばしませんか？」といふんだ。又、だれかは高價な衣裳を準備してゐて、「どれをお召し遊ばしますか？」と問ねる。だれかはまた、獵犬や料馬の事をいふと同時に、奥方が深く殿の御病氣をお歎きなされておいでだと言つて、もう久しい間氣が狂つてゐたのだと思はせるやうに話す。さうして、奴が、いや、わしはさうした者ではない、云々だといつたら、それはお夢を御覽じたのです、あなたは偉い御領主さまに相違ございませんのです、といふんだ。いゝか、さうするんだぞ、似つこらしくやるんだ。こりや非常に面白い慰みだらうて、巧くやれば。

御前、大丈夫、巧くやります、奴が私共の勉強の力で、成程、ちや、おれは殿

領

さまかと思ひまするやうにやります。
そつと伴れてつて、床の上へ臥せろ。さうしてめいゝに役をしろ、目を覺したら。

二三人にてスライを擔ぎて、入る。此時喇叭が聞える。

こら、あの喇叭は何だか、見て來い。

従者の一人入る。

おそろくどこかの貴族が旅行中か何かで、こゝで一休みしようといふのだらう。

従者戻つて來る。

泣

どうした？ 何者だ？
おそれながら、俳優でございます、御用を仰せ附けられますやうにと申します。

領 こゝへ呼べ。

このうち俳優連出る。

おゝ、よう来たなう。

俳一同

ありがたうございます。

領 今夜おれの邸に泊る積りか？

一俳 どうか御用を仰せ附けられたうございます。

領 最も望む所ちや。(従者に)あの男は見覚えがある。いつか農夫の惣領息子を演つたことがあつた。(俳優に)それは汝がさる貴婦人を巧く口説き落す

場だつた。汝の役名は忘れッちまつたが、たしかに善く適つてた、さもあ

るらしく演つたよ。

一俳 ソートーのことを仰せられますのでございませう。

領 ソートーく。彼役を汝が巧く漁つたよ。…むゝ、ちやうど好い處へ

來てくれた。といふのは、汝たちの手際で手傳つて貰ふと、大變都合のい
い或面白い事があるんだ。或殿さんに、今夜汝たちの劇を観せようとい
ふんだが、少々心配なのは、其殿さんは、今までまだ一度も劇を観たことは
ないんだから、多分變な様子をするだらう、それを汝らが見て、無作法に吹
出したり何かすると失禮になるからね。汝たちが笑や、立腹されるのは
分つてるから。

一俳 その御心配には及びません。たとひ其お方が世界一の道化方でいらつし
やいませうとも、笑ひますやうなことはございませぬ。

領 (従者に)さ、此手合を臺所へ案内して、一人々々、懇ろに接待しろ。邸で出
來る限りの優遇をしてやれ。

従者 一人俳優らを案内して入る。

(又一人に)こら、汝は待童のパーソロミューの許へ往つて、彼れを奥方そつく

りに扮装たせろ、それから衣裳づけが済んだら、あの酔漢を臥かした室へ
 伴れていつて、「奥方々々」と呼んで、へいへいふんだ。さうして、これは
 子の命令だから、其通りにすれば恩寵が加はらうといつて、彼れに、上流の
 婦人が其所天に對してするやうに、しとやかに、氣高くふるまはせるんだ。
 しづかに、うやくしく、小さい聲で、あの酔漢に對つて「あなたの奥であ
 り又不束な妻である所の妾が其義務を盡し眞情を表しまするために、何事
 をかお命じ下さいませ」といはせるんだ。それから、いかにもなつかしげ
 に、あの酔漢を抱擁したり、キッスしたり、頭を奴の胸元へおツつけて涙を
 流したりして、此七年の間といふもの、乞食非人に成り下つたとお思ひ込
 みなされた殿さまの御病氣がお癒りになつたのが嬉しい〜といはせる
 んだ。若しも、逆も實物の女のやうに、思ふやうに涙を雨すとは出来んと
 いふなら、玉葱を役に立てる、手拭に包んでゐて、目へ摩りつけりや、否で

も應でも涙が出る。その通り大急ぎでやらせろ。後に又いひつけること
 があるだらう。

従者 入る。

大丈夫、小僧めが貴婦人らしい品や聲や介や科を粧ひ得るであらう。奴
 があの酔漢を夫と呼ぶと、家來ども一同が吹出したいのを堪へて、あの馬
 鹿者の農夫にへい〜いふのを早う聴きたいわい。歸つて奴らに言ひ含
 めよう。予が其席に出てゐることが、餘り浮かれ過ぎさせないために必
 要だらう。でない、耐へかねて、笑ひ出してしまふかも知れん。

一同 入る。

第二場 領主の邸の寢室

舞臺の一段高くなつてゐる處(高二重)にスライと侍者らが

出てゐる。スライはちやうど目を覺したばかりの體である。或侍者は立派な衣裳を、他の者は銀の水盤や結構な水瓶やその他の調度を携へてゐる。領主も侍者にまじつてゐる。

スライ

(兼惚顔で) 後生だ、醜を一盃下さい。

一侍

お殿さま、西班牙酒を一つ召上りましてはいかゞでございますか?

二侍

御前、此砂糖漬を召上りましてはいかゞでございますか?

三侍

御前、本日はどのお召物をお召しになりますのでございますか?

スライ

わしはクリストファー・スライでもんですが。御前だの、殿さまだのいはれちやア困る。わしは曾ぞまだ西班牙酒なんか飲んだことはねえ。もし漬物オ下さるんなら、牛肉の鹽漬を下せえまし。何を着るかつて訊かつしやりますな。わしにや此春中が上被だ、此脚が股引だ、此足が靴だ。うんにや、どうかすると、靴だか足だか分らねえのを穿いてまさア、半分は皮

領

からはみ出してゐるだからね。

(うやくしく) 天よ、御前の此たはいもない御病氣を御全快あらしめたま

へ! あゝ、かういふお立派な御血統の、かういふ廣大な御領分の、かういふ高貴な御身分のお方が、かういふあさましい御氣分にならせられるといふは!

スライ

(呆れて) え、お前さまたちはわしを氣ちがひにしようてのかね? わしはクリストファー・スライでねえかね、バートンヒースのスライ爺さんの息子の? もとは呼賣商人だけんどね、羊毛櫛製へることを習つて見て、それがうまく行かねえんで、熊使ひになつて見たがね、それも止めて、今ぢやア鑄掛商賣だ。ウインコットの、あの肥つちよの酒屋のお婢に、あのマリヤン・ハケットに訊いて見て下せえまし、おらを知つてゐるか。奴がおらに十四片の醜の貸しがあるといはねえやうなら、おら基督教國中での大虚言者

だに。え、何だつて？ なアに、氣イちがつちやわねえ。その證據に……
と傍らの麥酒の盃を取り上げる。

一侍 あゝ、さういふ御様子であらせられますからして、奥さまがお歎き遊ばすのでございます。

二侍 さうして御家來一同が悲歎に暮れますのでございます。

領 またこれが爲に、御親戚がた御一同がお館へお立寄りなさいませぬのでございませぬ、御前のその不思議な御狂態をおそろしく思召すからでございませぬ。お、殿さま、御自分柄をおぼしめしませ、追放遊ばした故の正しいお考へをお呼戻しになりました、さういふ下賤なお夢心地を放逐しておしまひ遊ばせ。御覽じませ、御家來一同がかやうにお傍にゐて、何でもお命じの事を致さうとしてをるぢやございませぬか？ 音楽がお望みでございませぬれば？ あれ、お聞き遊ばせ！ アポロー神が琴を奏でまして、數

十疋の妙音鳥が囀りはじめます。

此時奥にて音楽を奏し始める。

或は眠りたいとおつしやいますか？ いつでもお床は準備してございませぬ。セミラミス女王のために特に飾り整へましたのよりも豊柔と氣持のよい、なまめかしいお床が準備してございませぬ。或は散歩したいとおほせられます。早速御通路に花を蒔きます。馬に騎りたいとおつしやいますか？ お召料に黄金眞珠を鑲めた馬具を附けさせます。又、鷹狩がお望みとあれば、お飼ひ馴らしが朝の雲雀以上に舞ひ上ります。或は山獵をとおほせられますか？ 御愛犬どもは蒼空をして彼等の啼き聲に呼應せしめ、大地をしてけたまはしい反響を起させます。或は駈けさせるとお命じになりませうなら、獵犬どもは何れも血氣の牡鹿のやうに迅速でございませぬ、無論牡鹿よりは速うございませぬ。

二侍

繪が見たいとおほせられますなら、手前どもはすぐに持つて参ります、例へば、瀬の早い小川の岸に美少年神のアドーニス、又生茂る菅の葉がくれには美人神のシ、リヤガをりまする晝で、菅の葉はシ、リヤの喘ぐ息でみだりがはしく戦いでゐるかとも見えます、まるで風に弄れて波立ちます時のやうに。

領

又はアイオーがまだ處女でゐました時分に、ジュピター神に誑され、不意に物されてしまひまする體を、まるで見るやうに描いたのなぞを御覽に入れませう。

三侍

又は裸體の女神のダフニーが、荆棘だらけの森の中を、アポロー神に追ツかけられて、逃げ廻つてをりますうちに、處々に引搔疵をこしらへ、血が出てをりますらしいのを、アポローが打見やつて、痛はしがつて涙を流ししまする體を、いかにもまざくと巧妙に畫いたのを御覽に入れませう。

領

あなたは殿さままでございます、殿さまに相違ないのでございます。あなたには此末世には又とあるまじいお美しい奥方があらせられます。

一侍

奥さまは、あなたのお爲にお流し遊ばした涙が、意地わるの洪水のやうに氾濫しまして、お美しいお顔を荒しませなんだ時分には、世界第一の美人であらせられました。今でもまだどの婦人にも劣りはなさいません。

スライ

ちや、おらは殿さまかね？ そんな奥方があるかね？ こりや夢ぢやねえかな？ いや、今までが夢だつたのかな？ …こりや睡てるんぢやねえ。見えもする、聞えもする、物もいへる。いゝ匂ひがするし、物の柔いのも分る。ちや、全く、あの、おらは殿さまなんだ。鑄掛屋のクリストファー・スライぢやアねえいんだ。ちや、奥方をこゝへ伴れて来てくんろ。それから、醜をもう一壇だ。

二侍

お殿さま、お手をお洗ひになりませんか？ おゝ、お正氣にならせられま

してお目出たうございます！ おう、再び御身分柄を御意識遊ばされるやうになりましたといふは、喜ばしいことでございます。此十五年の間お夢を見ていらせられましたのです。でなければ、まるでお目が覺めたやうに、御正氣にならせられたのでございます。

スライ 十五年？ そいつア随分眠たもんだね。その間ちつとも物おいはなかつたかね？

一侍 へい、おつしやいました、けれどもたはいもあらせませられんことばかり。こんなお立派なお座敷に御寝なつていらせられながら、戸外へ何故叩き出すんだ」なんぞとおつしやいまして、其家の女主人らしい者をお叱りになりまして「ごりや石塚だぞ、封印濟の六合を何故持つて來ない、うぬ、訴人してくる」なんぞとおつしやいました。折々シ、リー・ハケットといふ名をお呼びになりました。

スライ うん、そりやあの店のお娘だ。

三侍 でも、御前、あなたがさういふ店やさういふ娘を御存じの筈はございません。其他、あなたが呼び立になりましたスチーヴン・スライとか、グリースのジョン・ナップ爺さんとか、ピーター・ターフとか、ヘンリー・ビンマーネルとか何とか、二十名以上の者は、曾て御領内にゐたこともございませんければ、無論、見た者はございません。

スライ ぢや、おれの病氣の治つたのを神さまに禮いふことにしようかね？
皆々 アーメン！

スライ (天を仰いで) はい、ありがとうございました。決して御損は掛けますまい。
此時領主の侍童パーソロミュー、巧みに奥方に扮して、侍女らをつれて出る。

侍童 殿さま、御機嫌はいかゞでございます。

スライ うん、上機嫌だ。御馳走が十分だからね。婢は何處にゐるね？

侍童 殿さま、こゝにをります。何か御用でございますか？

スライ おめえが婢かね？ それなのに、俺を殿さまって呼ぶかね？ 家來だらおれを殿さまって呼ぶが當然だけんど。俺はおめえの亭主でねえかね？

侍童 我夫でも又我殿でもあらせられます、我殿でも又我夫でもあらせられます。わたくしはあなたの柔順な妻でございます。

スライ そりや分つてるよ。……何て呼ぶかね？

領 奥とお呼び遊ばせ。

スライ アリス・オックかね？ ジョーン・オックかね？

領 只「奥」だけでよろしいのでございます。大名方は御夫人をさうお呼びでございます。

スライ (侍童に) 婢の奥、みんなが、おれは十五年をこいらも寝込んで夢イ見てゐた

んだといふだよ。

侍童 はい、その十五年がわたくしには三十年とも存ぜられました、その間お添ひ臥しも出来ませんので。

スライ そいつアえらかつたなア。……家來ども、退つて、彼女だけ残してけ。……奥、着る物ぬいで、さ、こゝへ來う。

侍童 お殿さま、もう一夜二夜の間御猶豫を下しおかれたうございます。若し叶ひませずば、せめて日が暮れますまで。實は、侍醫どもが御病氣にさはるから、お添ひ臥しをいたしてはならぬと申し附けましたのでございますから。かう申し上げましたなら、わたくしの申分けは立ちませう。

スライ 立つ。からして、もうどうも我慢は出来ねえ。けんど、又夢イ見るやうになるのもいやだ。だから、生身が承知しなくつても我慢すべし。

使者役出る。

使者

御前さま、お抱への役者どもが、御病氣御本復と承はりまして、愉快な喜劇を御覽に入れませうとて参りましてございます。と申すのは、久しい御悵鬱症のために嘸かし御鬱血遊ばしましたであらうが、お醫師たちはとかく悵鬱は狂病の保母であると申されますから、喜劇でも御覽に入れてお心をお慰め申してはいかゞかと彼等が考へましたのでございます、陽氣に笑ひ樂しみますれば、千百の邪害も打攘はれて長壽延命の福を得る例でございませうから。

スライ

うん、觀よう、やらしてくれ。喜が、くてのは基督祭の踊かね？ とんぼげえりする輕業かね？

侍童

ではございませぬ。もつと面白い味ひのものでございます。

スライ

え、ちや、食へるものかね？

侍童

いゝえ、ま、お話のやうなものです。

スライ

おゝ、觀べい。…さ、嬾の奥、おれのすぐ傍に掛けてゐてくんろ。浮世はともなれた。斯う若くは又とはなれねえ。

* * * * *

第一幕

第一場 バデューア 街上

盛んに喇叭を吹き鳴らす。ビザ市の豪商ギンセンシオの男
ル
一 センシオと其僕 ツラニオと旅装にて出る。

ル
ツラニオ、わたしの豫ての念願通りに、藝術の保育所たる此バデューアの美し
い市へ、かうして、大伊太利の愉快な花園たるロンバーディーの沃野から着
いた以上、又慈愛深い父の甘諾を得て、忠實な汝に侶をして貰つて、何一つ

不自由のないやうに用意して、やつて来た以上、一先づ息休めをして、それ
から學問修行の便宜な方向を求めるところにしよう。市民の眞摯なので有
名なビザの市は、わたしに存在性を與へてくれた。先づ、わたしに父を與
へてくれた、世界ぢうと取引をする大商人のベンチゾリ家のギンセンシオ
といふ父を與へてくれた。ギンセンシオの子と生れて、フロレンスで育
て上げられたからには、世の期待に背かないやうにする爲には、此好運を
飾るに徳行を以てするのが當然だらうと思ふ。だから、今度の修學中は、
専ら徳を磨くことにして、主として美德によつて幸福を得る道を教へる所の
學問を修めようと思ふ。それを汝はどう思ふね？ わたしがビザを去つ
て、わざわざ此バデューアへ来たのは、譬へば、平素の渴を醫さうとする者が
浅い水溜りを棄て、深い淵へ躍り込んで望みを十分に遂げようとするや
うな心持で、やつて来たんだ。

ツラ

乞寛恕、旦那さま。わたくしの心持は、何につけても、あなたとおんなじでございますから、あなたが、相變らず、結構なお學問を御勉強なさいますのを結構なことだと喜んでをります。只ねえ、旦那さま、その美德とか道徳の修行とかいふことは結構だとは存じますけれど、どうか、ま、ストイックだの、丸太棒だのには成りたくないものでございます。あんまりアリストートルさんの戒律にばツかり凝固まつて、オギッドさんなんかは七里けばいだとまでお嫌ひなさいませんやうに。お知合とは随分理窟をもお控ねなさいまし、平生のお話には修辭學の御實習もよろしうございませうぜ。お退屈まぎらしには音楽や詩や歌も結構です。數學や心理學もお氣が向いたらおやりなさいまし。「興伴はぬ仕事には益生せず」でございます。つまり、一等お好きなことを御勉強なさいまし。

ルー

多謝、ツラニオ。至當の忠告だ。あゝ若し今、あのピオンデローが着港し

ツラ

てさへくれりやア、すぐにも宿所を定めて、此バデューアで知交に成り得た限りの人達を招待することにするんだがなア……が、ちよいと。あの同勢は何だらう？

わたくしたちを歓迎するための行列でございませう。

當市の富豪バプチスタ・ミノーラ、其第一女カサリナ、其第二女ビヤンカ出る。ついでいてビヤンカの求婚者グレミオとホオテンシオと出る。二人とも當市の住人であるが、グレミオは、もう大分の老年者である。

ルーセンシオとツラニオは一隅に退いて様子を見てゐる。

バブ

兩君、もうそれをいふのは止めて下さい、わたしは決心してしまつてゐるんだから。すなはち、姉嬢が夫を迎へない以上、末女は決して與げられないといふのです。若し兩君のうちで、姉のカサリナをとおつしやる方が

あるなら、——もとより兩君を知りもし愛しもしてゐるわたしただ——御隨
意に、ちかに、當人に御縁談下さつて差支へないといひませう。

グレ (傍白) むしろ嚴談に及んだはうがい。無頼漢を取締る料簡になつて。

……さ、さ、ホオテンシオ、君はどんなのでも可いといふのかい？

カサリ (怒氣を含んで、父に) おとうさん、あなたはわたしをこんな連中の玩弄物にさ
せようといふんですか？

ホオ 玩具ですつて、あなたが！ どういたしまして。もつと可愛らしく製り
直して、貫はない以上、迎も此世の中にやあなたを玩具にし得る亭主は
ありますまい。

カサリ (突慳食に) 御心配にや及びません。彼女は亭主なんか迎へたがつちやゐま
すまいよ。けれども、萬一迎へたとすれば、三脚椅子を梳櫛代りにして、
あなたの駄頭をごしくと梳いて、それから其顔を眞赤に繪どつて、阿呆

の役を勤めさせるでせうよ。

ホオ 神さま、どうかさういふ鬼女にとツつかれませんかやうに！

グレ わたくしとでも、どうか、それだけは！

ツラ (ルーセンシオに、傍白) しッ、旦那！ 面白いことが始まりさうですよ。あの
女はまるで氣ちがひです。でなけりやおツそろしい我儘者です。

ルー (同じく傍白) けれども黙つてるもう一人のはうは、如何にも娘らしく、おと
なしやかで、物しづかだ。……しッ、ツラニオ！

ツラ 全くです。……黙々！ たんなうなさるほど御覽なさいまし。

此問答の間、バプチスタはグレミオ、ホオテンシオの二人に何か囁
いてゐたが、

バプ そこで、只今申した通りだといふことを兩君に證明するため、(とピヤンカ
を見返つて) おまへは、早く宅へお入りなさい。といつたからつて、わるく

カサリ 思はんがいゝ、何もおまへを可愛がる心が薄いからではないのだ。
大層な御秘藏ツ子さんよ！ 其理由が解つたら、あの兒だつて、目にお指
をあてませうよ。

ビヤン 姉さま、わたしの悲しさを思ひやつて、御堪忍なさい。……とうさま、お
心のまゝにいたします。書と楽器とを友達にして、讀むのと習ふのとを
楽しみにませう。

ルー (傍) ツラニオ、聴きな！ ミナーヴ神が口をきいたよ。

ホオ バブチスタさん、そりやあんまり無情いなされかたちやありませんか？
われゝの生中の好意が却つてビヤンカさんの悲しみの種になつたのを
お氣の毒に思ひます。

グレ バブチスタさん、なぜビヤンカさんを押籠めなさるんです、罪はあの鬼娘
さんにあるの？ 姉さんの毒口の罰を妹さんに負はせるのは不當です。

バブ まゝ、兩君 わたしの決心は動かない。ビヤンカ、お入り。……(ビヤンカ
入る)。彼女は非常に音楽や詩歌が好きですから、齡のいかん彼女を教へる
に適當した家庭教師を雇ひたいと思ひます。ホオテンシオさん、もしあ
なたが、又は——グレミオさん、あなたが、——さういふ適任者を御存じな
ら、宅へ推薦して下さい。熟練家であれば優待しませう、子供らを躰ける
には費用は厭はん積りですから。では、さやうなら。……カサリナ、おまへ
は爰にゐてもいゝよ、わしはビヤンカにまだ言ふことがあるから歸るが。

バブチスタ 入る。

カサリ だつて、わたしだつて歸つたつていゝでせう？……一々時間なんか定めら
れなくつてもいゝのよ、物の取舍選擇が出来ない赤んぼちやあるまいし。

カサリナ となりながら入る。

グレ 鬼のお袋の許へ歸つて行きな。性質が結構過ぎるから、だれも引止めよ

うとはしないよ。……ホオ
 テンシオ、どつちの氣受けも
 よくないねえ、爪をふうく
 と吹いて此の寒斷食を爲通
 さうよ、此麩菓子葉子は兩面と
 も生焼で、逆も食へさうにな
 いから。……さやうなら。
 だが、ビヤンカが氣の毒だか
 ら、もし何とかして彼女の好
 きなことを教へ得る適任者
 が見附かつたら、それを親父
 さんへ紹介することにしよ



う。

ホオ

わたしもさうしよう。が、グレミオさん、ちよいと。……お互ひの競争の性
 質上、今までは未だ曾て妥協を容さなかつたのでしたが、反省の結果、特に
 或一事を若しも二人が協力して成し遂げたならば、お互ひにあの美しい
 令嬢に再び接近することが出来て、其愛を得るための幸福な競争者になれ
 ると思ふのですが、どうです？

グレ

といふのは、どんなことですか？

ホオ

すなはち、あの姉嬢に夫を周旋するんです。

グレ

夫を！ 鬼をでせう。

ホオ

夫をです。

グレ

鬼をでせう。ホオテンシオ、親父さんが金持だとはいふものゝ、あんな娘
 の亭主にならうといふものが有ると思ひますか？

ホオ さういつたものぢやアない、われ／＼こそあのがみ／＼と怒鳴るのに、怖れをなしたものの、世間には随分、若し丹念に探しさへすりや、どんな疵物をも、金が澤山附いてありや、貰はうといふ好い氣な男もあるもんです。

グレ どうだか？ が、わたしは彼女を持參金附で娶るのは、毎朝市場でぶんなぐられるといふ條件附で娶ると同格だと考へるのです。

ホオ いかにも其通り。腐つた林檎を喰はうといふ者はまアない。が、ま、同意したまへ。此負公事で仲よしになつた以上、あの惣領女にどうかして亭主を世話して、妹娘が結婚の自由を得るやうにしむけるまで、仲よくしてゐて、其上で又新たに競争しませうよ。……あゝ、可愛いビヤンカ！
あゝ其男こそ仕合せもんだ！ 一等脚の速い者が指輪をだ。グレミオさん、え、どうです？

グレ 賛成。さういふ男が見つかりや、わたしは此バデュア第一等の駿足をくれてもいゝ、すぐあの鬼を口説き落して、結婚をして一しよに寝て、あそこ
に居ないやうにしてくれさへすれば。

グレミオとホオテンシオと入る。
此以前、ルーセンシオはビヤンカに戀慕したる體で、ほれ／＼と其後ろ影を見送り、前の二人の間答の間類りにツラニオに何事か囁いてゐたが、此時ツラニオは呆れたといふ表情をして

ツラ 旦那、戀愛てものは、そんなに唐突に人にとつつくもんでございますかねえ？

ルー おゝ、ツラニオ、おれだつて、今日實驗したまでは、そんなことをあるだらうとも、あるらしいとも思つちやゐなかつたんだが、かうして惘然として立つて見てゐたうちに、其惘然状態に於ける戀の力といふものを發見した

よ。かうなつた以上はだ、カーセージ女王に於けるアンナ姫よりも子の爲には無二の腹心である所の汝に露骨に告白するが、ねえ、ツラニオ、予は、今のあの娘を手に入れることが出来なけりやア焦れて焼ツちまふ、病氣になツちまふ、死んちまふ。ツラニオ、どうしたらいいか、教へてくれ、汝にやきつと工夫があるんだ、助けてくれ、きつとさういふ深切もあるんだ。

ツラ 旦那、今はお小言を申し上げる場合ぢやございませぬ。好き嫌ひは叱つたつて、心から出て行くものではないのです。戀愛の捕虜におなんなす

ルー つた以上、只もう成るたけ廉い償金でお身受けをなさるのが第一です。ありがたう。で、それから。今いつてくれたことは氣に入つた。ついで

ツラ と言つてくれることも氣に入らう、お前の考へは正しいんだから。旦那、あなたはあのお嬢さんの顔ばつかし見詰めていらつしやいましたか

ら、多分肝腎の事にお氣が附かないでいらつしやいませう。

ルー あゝ、さうさ、あの娘の顔のうつくしさと來たら、そら、あの、ジョーヴ神が

ツラ 身を下して、天降つて、クリート島で土下座をしてキッスしたといふアゲノアの愛女もよろしくといふ風情だ。

ルー その他には、何にもお目に附いたものはございませぬでしたか？ 姉さんが怒鳴りはじめて、人間の耳ぢや忍耐の出来ないやうな大雷を落しかけたのにお氣が附きませんでしたか？

ルー ツラニオ、予はあの娘の珊瑚のやうな唇が動くとき、其息で以てそこいら中が香水を撒いたやうになつたのに氣が附いたよ、あの娘に關する限りは、何でもかんでも、神々しくつて、うつくしくつて。

ツラ (傍白) 此様子ぢや、先づ正氣に返らせなけりやなるまい。……もし、どうか、はつきりなさいまし。正直、あの嬢さんを戀しいとお思ひですなら、どうしたら手に入るかといふことをお考へにならなけりやいけません。

と申すのは、姉さんがあゝいふ我儘な、口ぎたない厄介者なんですから、親父さんがあの姉娘を手離すことが出来ない間は、旦那、妹さんは、宅に、嫁入しないであなけりやならんといふのです。ですから、親父さんが妹さんを箱入にしッちまつたのです、うるさく縁談を申し込む手合を避けさせる爲に。

ルー あゝ、ツラニオ、何といふ酷い親父だらう！ だが、あの娘を教育するため

ツラ へい、さやうでございます。で、今思ひついたことがあります。

ルー おれにもある。

ツラ きつと旦那の工夫とわたくしのおんなじですよ。

ルー 先づ汝のをいへ。

ツラ あなたが家庭教師になつて入込んで、あの娘に教へようてんでせう？ さ

ルー ういふ案でござんせう？ さうだ。

ツラ むづかしうござすよ。といふのは、だれが此バデュアの市で、ギンセンシオさまの息子さんの役をします？ さうして家を借りて住んだり、勉強をしたり、お友達を迎へたり、お國出の方達を訪問したり、其人達を饗應したりだれがするんです？

ルー 足矣。安心しな、そんなことにや脱落はないよ。おれたちはまだどんな家に住んでゐたといふのでもなく、顔で以て主人、家來と知られてゐるわけでもないんだから、かうするんだ。ツラニオ、汝が予の代りに主人になつて、家を借りて、予がするやうに物體ぶつて、人を使ふんだ。予は何か別の人間にならう、フロレンス人とか、ネーブルス人とか、ビザから來たとするにしても、身分の賤しい者にならう。かう案が熟した以上は、すぐそ

れを實にするから、汝は早速着物を脱いで、予の色變りの帽子をかぶれ、さうして外套を被ろ。ピオンデローが來りや、汝の家來の役をさせろ。が、其前に、奴をごまかしつけて秘密を守らせなけりやならない。

ツラ

さうなさらんけりやなりません。……(一寸考へて) 御主人の仰せに順ふのが家來の本務でございますから、——既にお父さまが、御出立の際にも、手前に、よく俸に仕へてくれとおつしやいましたことですから——もつとも、御趣意は別だと存じますが——よろしうございます、お身代りを勤めます、ルーセンシオさまを身に代へてもと愛してゐるわたくしでございます。さうしてくれ、そのルーセンシオさまも身に代へて愛してゐる最中だ。あの娘を手に入れるためには奴隷にでもなる。一目見るや否や、此目が生捕られツちまつた。

主従衣裳帽子を取換へる。ルーセンシオは、ふと一方を見て

ルー

ルー

奴がやつて來た。

ルーセンシオの僕ピオンデロー出る。

おい、どこへ往つたのだ?

ピオン

(二人の姿を見て呆れて) どこへ往つたかとおつしやるんですか? わたくしよりも、ま、あなたがたはどうなすつたんで? 旦那さま、ツラニオがあなたのお召物を盗つたんでございますか? 或はあなたが彼れのお奪りになつたんですか? お互ひっこですか? 一體どうしたといふのでございますか?

ルー

おい、ま、こゝへ來な。戲談をいつてる場合ぢやないんだ。だから眞面目になつて聞いてくれ。この、汝の同僚のツラニオがおれの命を救ふために、おれの衣服を着て、身代りになつてくれるんだ、おれは彼れのを着て、逃げようといふんだ。といふわけは、おれは、此港へ着いてから、喧嘩

をして、人を殺したのを、もう既に知られたらしい。どうか、おれが落延びる間、彼れの家來になつて、似つこらしくやつてくれ。分つたか？

ピオン へい！……(傍白)ちつとも分らない。

ルー 假にもツラニオなんていつちやいかんぞ。ツラニオはルーセンシオになツちまつたんだから。

ピオン ツラニオは幸福でございます。手前だつてさうなりたうございます。

ツラ ツラニオは、ルーセンシオさまに成り切りたいものだ。(口のうちに)といふわけは、旦那に、バブチスタさんのあの妹娘を手に入れさせたいばかりだ。……(ピオンテローに) おい、君、わたしの爲ちやアないよ、旦那さまのお爲なんだから、どうか、人前へ出た時にや、うまくやつてくれたまへよ。ひとりである時にやツラニオだけれど、さうでない場合にや、いつでも君の旦那のルーセンシオだよ。

ルー ツラニオ、さ、往かう。……もう一つあつた、それは、汝が例の求婚者の一人になることだ。譯は今はないが、正しい、重大な理由があると思つてゐるばい。

三人とも入る。

高き處にて此劇を始終見物してゐる積りのスライははじめ侍童、侍者らに扮したる俳優共、此時物をいふ。

一侍 (眠りかけてゐるスライに) 御前、お眠り遊ばすのですか？ 劇をねつから御覽

になりませんやうです。

スライ なアに觀てるよ。大變結構だ。まだあるかい？

侍童 御前、まだ始まつたばかりでございます。

スライ 奥方さん、大變に面白いものだね。早く終ひになればいゝ！

一同並んで腰を掛けて觀てゐる。

(スライらの一群は、此第一幕の終るまでは、高二重めく處に最初から着席したまゝで、平舞臺の劇の進行を見てゐるやうにしてあるらしいが、第二幕以後には——沙翁の作では——顔を出さないことになつてゐる。随つて劇中劇の趣向が首尾一貫しないことになる。或は彼の沙翁學者フリーが注意したる如く、第五幕の——フォリオ版で見ると——比較的短いのは、其後に書下しの當時には、スライの筋の結末が添へられてゐたが爲ではないか？ すなはち、スライが酔うて再び熟睡してゐる、それを領主が命じて元の丘へ擔ぎ出させる、

とゞ、スライが目覺して「さては今のは夢であつたか？」と呆れるといふ段落が書添へてあつたのでもあらうか？ 一千八百四十六年に J. R. Franche が沙翁劇の復活を試みた際、此劇の演出では、始めから終りまで、スライの一群が普通の見物同様に高二重に着席をつゞけてをり、第五幕の終りに至り、領主が立つて、無言で、眠つてゐるスライを擔ぎ出せと家來に手眞似で命ずる、そこで幕がおけるといふ演じかたであつたといふ。尙本書の緒言を参照して下さい。

第二場 バデュア ホオテンシオの宅の前

ゴローナ市の若紳士ハトルキオと其従僕ガルミオと出る。

ベトル ゴローナよ、當分汝とはお別れだよ、おれはこれからバデュアの友人、といふうちにも無二の信友のホオテンシオを訪ねるんだからね。……ところで、これがあの男の宅だ。……こら、おい、ガルミオ、叩け。

ガルミ へ、撲け？ だれを撲くんのです？ あなたさまに無禮をした者でもございませぬか？

ベトル 馬鹿！ 叩いてくれといふんだ、頼むから。

ガルミ へ、あなたをですか？ どうしてそんなことが出来てくるものか？

ベトル 馬鹿！ 早く、その、何をその、ぶツはたけといふんだ。分つてるぢやないか？

早く叩かないと、汝の駄頭を撲きみじくぞ。

ガルシ (獨自) 喧嘩ごつこがしたくなつたんだな。おれに、わざと先へ撲かせておいて、それから手酷くお撲き遊ばさうといふのだ。

ベトル 叩かないなり……おい、どうしても叩くのは否だといふなら、おれが引ン捻つてやるぞ。捻ぢつたら、どんな音色を出すか、うぬ、試験してくれる。

ガルミオの耳をつまんで捻ぢ廻す。

ガルミ あいたく！ だれか来て下さい、だれか来て下さい！ 旦那が氣がらがひました。

ベトル さ、叩け、早く叩け、馬鹿！

ガルミオ突き放されて、へたばる。

家の内よりホオテンシオ出る。

ホオ どうしたのです？ 何事です？……おや、古い馴染のグルミオどんちやないか！……お、ペトルキオ君ちやありませんか？ どうお暮しです、エローナで皆さんがり？

ペトル ホオテンシオ君、喧嘩を引分けに来たんですか？ 眞个好邂逅。

ホオ 歡迎々々、仁兄大人、ペトルキオ……さ、グルミオどん、お起

ちなさい、お起ちなさいよ、わたしがいゝやうに取做すから。

グルミ いゝえ、旦那がどんなことを拉典語でいひなさらうとも、理分は此方にあります。けふ限りお暇を貰ふといつたつて、無理ぢやござんすまい、だしぬけに、撲け、ぶんなぐれとおつしやるんです。家來が主人を撲られますか、たしかに正札ツ外れをしてござるのが分つてゐますのにな？……あゝ、いつそ初手に、思ふさま撲つておいたら、まだしも此埋合せが附いたであ

らうものを。

と撲たれた打身のあとを擦つてゐる。

ペトル 間ぬけ野郎！ ホオテンシオ君、わたしは奴にあなたの門の戸を叩くと命じたんです、それを奴にどうしても呑込ませることが出来なかつたんです。(呆れて)門を叩くんでしたか？ おやゝゝ！ だつて、あなたは門を叩くと

はおつしやらないで、たしかに撲けたの、ぶんなぐれたのとおつしやいまして。今になつて、門だなんて。

ペトル おい、こら、引込んで。でなきや、喋舌らないはうが爲だぞ。

ホオ まゝ、ペトルキオ、グルミオの保証人には僕がなるから。とにかく、とんだ行違ひが起つたもんだねえ、君が君の忠實な、愉快な、子供の時分から召使ひを撲るなんて。が、一體、どういふ嬉しい風の吹廻しで、君はエローナからはるゝ此バデュアへやつて來たんだね？

ペトル

例の若い者を世界ちうへ吹散らす其同じ風さ。國にゐちやア浮ぶ瀬がな
いが、遠くへ出ると、少しばかりの経験も物になる。だから、出世を望む
若い者は外へ出たがる。つまり、僕の境遇は、かうなんだ。親父のアント
ニオが死んだので、暗雲に旅へ出かけて見たんだ、成るべく好い婢を見つ
けて、金をも儲けて、幸福な暮しをしようといふんだ。懐ろには金があり、
家には財産がある、だから世界見物に出かけたといふわけさ。

ホオ

ペトルキオ、ちや、單刀直入にいふが、どうです、不標致なじやく馬を一
疋妻君にする氣はないかね？ といつたら、君はあんまり有りがたくも思
はないだらうけれど、其女は金持だよ、非常な金満家だよ。もつとも、君
は僕の大事の親友なんだから、實は、そんな女なんかを世話したくはない
んだけれど。

ペトル

ホオテンシオ君、お互ひのやうな親友間には、餘計な言ひ草は無用だ。僕

の妻たるに足る財産があると君がいふ以上はだ——僕の求婚曲の囃子言
葉は「お金！ お金！」ツてんだからね——其女がだ、たとひフロレントの
情人のやうな醜婦であらうと、魔女よろしくの婆アであらうと、ソクラテ
スのザンシッピのやうな堪らない悍婦であらうと、乃至其れ以上であらう
と、僕は平氣だ。少くとも、敢て娶らうといふ銳氣を挫かないね、よしん
ば其奴がアドリヤチック海の怒濤よろしくであらうともだ。僕はバデュア
で金持の婢を見附けようとしてやつて來たんだ。金さへありや他は問は
ないんだ。

グルミ

(ホオテンシオに) ねえ、もし、あなた、旦那は眞實のことをいつてをられますん
です。お金さへ澤山附いてりや、操り人形だつて、金具の飾りの豆人形だ
つて、かまつたことはないのです。齒の一本もない、馬五十疋分の病氣の
問屋のやうなお婆アさんだつていゝんです。お金さへありや何でもいゝ

ホオ

んですから、お世話をなすつて下さいまし。

ペトルキオ、こゝまで踏込んだ以上、實は戲談にいひ出したんだけれど話を進めよう。ペトルキオ、おや、妻君をお世話しようよ。財産はうんとあり、齡も若くて美しくもあり、教育もある。只一つの缺點はだ——もつともそれが大きな缺點だがね——といふのは、始末にをへない我儘な、氣がさな、氣むづかしい悍婦なんだ、全く度外れなんだ。僕なんかは、たとへ境遇が今よりもずつとわるくつても、よしんば黄金の山を積んでくれても、あの女ばかりは妻にしたいくないといふくらゐのもんだ。

ペトル

ま、まちたまへ！ 君はまだ金の威力を知らんのだ。其女の親父はだれだい？ 名をいつてくれ。親父次第で、僕は求婚する、たとひ其女が秋口の雷神のやうに怒鳴つてもかまはん。

ホオ

其娘の親父はバプチスタ・ミノーラといふ親切な、上品な紳士だ。娘はカ

ペトル

サリナといつて、其口汚いのではバテユアぢうに知れわたつてゐる。娘は知らんが、親父は知つてる。僕の亡父の知人だつた。ホオテンシオ、僕は其娘に會ふまでは寝ないよ。だから、失敬だが、今すぐにそこへしよに往つてくれ、ばよし、さうでなけりや、今逢つたばかりだけれど、僕はこれでお分れる。

ホオテンシオが答へに躊躇してゐるうちにペトルキオはもうさつさと行きかける。ガルミオはホオテンシオに

ガルミ

もし、機嫌の變りませんうちにやらせなすつて。其娘さんが若し手前ほど主人を知りましたなら、いくら怒鳴つても駄目だてを悟りなさいませう。多分、其娘さんは、畜生とか、馬鹿とか、五六度も怒鳴りませうけれど、そんなことはお茶の子です、主人が怒鳴り出したりといふと、惡體もく體を學理的に並べるんですからね。きつと、その、何でございます、其娘

さんが、只の一言でも口答へをなさらうものなら、主人は忽ち手きびしく悪口を——娘さんの鼻ツ柱が引ン歪みさうな奴を——真面に叩き付けま
さ、さうすりや撲かれた猫のやうに目をねぶつてしまひまさア。あなた
はまだ主人を御存じでないのです。

ホオ

(ペトルキオに) おい、ペトルキオ、待ちたまへ、僕も是非一しよに行くよ。バ
ブチスタには寶物が預けてあるから。といふのは、僕の命の種の寶石で
す。彼れの二番目娘のビヤンカといふ美人のことです。親父は僕をも僕
の競争者をも、即ち其ビヤンカに求婚する者一同を排斥するんです。姉
娘は、今いつたやうな缺點があるんで、逆も貰ひ手があるまいといふとこ
ろから、親父は其雷娘のカサリナが夫を迎へないうちは、どの男にもビ
ヤンカとの交際を許さないといひ渡してしまつたのです。

グルミ

雷娘のカサリン！ 娘さんの綽號としては、此上もなくわるい名前だ。

ホオ

ところで、親友ペトルキオ、僕に恩恵を施してくれたまへ。といふのは、
僕は真面目くさつて、禮服を着て行くからね、此仁は知り合ひの熟練な音
樂者だといつて、僕をあの親父に推薦してくれたまへ、ビヤンカの家庭教
師に。さうすれば、許しを得て、ビヤンカとさし向ひになつて、大ツびら
に直談判を試みるこゝが出来るから。

グルミ

(獨白のやうに) こりや奸計でも何でもないや！ 老爺連の計略の裏を搔きた
めに若い連中が智慧袋を絞るまでのことだ！

此時老求婚者のグレミオを先に、若い學者らしく假装したる
ルーセンシオ出る。

グルミ

旦那、々々、御覽なさい。だれか來ましたよ。

ホオ

しッ、グルミオどん！ あれがわたしの競争者なんだ。……ペトルキオ、少
し待つてゐてくれたまへ。

グルミ (クレミオを見やつて) 色師らしい立派な若い衆だ。

クレミオとルーセンシオと近くへ来る。

グレ (ルーセンシオに) 宜しい。書附はすつかり読みました。ねえ、君、いゝかね？
手際よく製本させて下さいよ、その戀愛書類一切を。費用なんか不關は
んからね。さうして只その戀愛の講義だけを彼女に読んで聴かせておい
て下さい。分つたかね？ バブチスタさんが支拂ふ教師給以上又以外に、
わたしからも十分の報酬をしますからね。紙も持つてつて下さい。それ
から何もかも十分に好い薫ひを附けさせておいて下さい、何にしろ、それ
を受ける當人が、あの通り、薫物以上にしほらしくもなつかしくもあるん
だからね。

ルー 大丈夫です、何を讀まうとも、必ずあなたの爲に辯じますよ、恩人の爲にす
るやうに。あなたが學者でない以上、自身にそこらゐて、自身の口でおつ

しやるよりも、おそらく上手にやりませうよ。

グレ あゝ、學問でものは、妙なもんだねえ！

グルミ (傍白) あゝ、山鶴でものは馬鹿なもんだなア！

ペトル (クレミオを睨んで) しッ！

ホオ (同じくグルミオに) グルミオどん、黙！……(クレミオを出迎へて) グレミオさん、御
機嫌よう。

グレ や、これはよいところで、ホオテンシオさん。どこへ行くかを御推察？
バブチスタ・ミノーラへです。ピヤンカの教師になる人物を物色しよう
と約束したんでしたが、幸ひと、學問、品行、ともに適任といふ此若いのに
偶然ぶつつかつたのです、詩や歌や其他いろんな良い書をよく讀んでる人
なんです。

ホオ それはけつこう。わたしも一人の紳士に逢つたんです。其人が、わたし

のために、お互ひの戀人に音楽を教へ得る或立派な人物を周旋しようといつてくれたんです。ですから、わたしとても、我親愛する所のピヤンカに對して義務を盡すといふ點に於ては、聊かもあなたに後れない積りです。

グレ 「我親愛する所の」といふ點は、今にわたしが行爲で證明する。

ケルミ (傍白) それは金財布が證明するだらう。

ホオ グレミオさん、今は戀愛程度なんかを主張し合つてゐる時ではあるまい。

ねえ、あなたに隔心がないならば、双方に取つて、共に都合の好いことをお知らせ申したい。……(ペトルキオを紹介しつゝ) 此紳士は偶然にお目にかゝつたお方ですが、もしわれ／＼が此方の好まれる通りの或約束をしさへすれば、此方は、あの雷娘に縁談を申込んで、結婚までもしようといはれるんです、持參金の額次第で。

グレ 其の言葉通りに實行されるやうなら、妙です。ホオテンシオさん、姉娘の

缺點は、すつかり話したんですか？

ペトル 厄介な、騒々しい、怒鳴る娘だとか聞きましたが、それツきりなら、かまはないのです。

グレ かまはないとおつしやるんですか？ あなたはどちらのお生れですか？

ペトル ゴローナで生まれました、老アントニオの倅です。父が死にましたので、わたしの財産が生れたのです。幸福な生活をして長生もするだらうと思つてゐます。

グレ おゝ、さういふ身分で、あゝいふ婦人をお娶りにならうといふのは稀代ですなア！ ですが、お好みとあれば、けつこうでせう。出来るだけ御後援しませうが、實際御求婚なさらうといふんですか、あの山猫に？

ペトル 無論！

ケルミ 求婚なさらうかッて？ 萬一にもなさらなかつたら、其の猫を絞殺して御

覽に入れます。

ペトル

何の爲に爰へやつて來ませう、そんな目的でもなけりやア？ 少しぐらゐ大きな物音がしたからつて、びくつくやうなんぢやアないのです、わたしの耳は。獅子の吼えるのを聞いたこともあれば、海が颶に吹捲られて、怒つた野猪が汗の泡に包まれて狂れ廻るやうに激したのを聞いた耳です。原野に鳴り轟く人工の雷をも、大空にはたゞく天の大砲をも聞いた耳です。或は又、兩軍が相對陣して、亂打する鐘、太鼓、喇叭の響、軍馬の嘶き、関の聲、天地爲に壞るゝかと思ふ大騒音をも聞いた耳です。それなのに、女の怒鳴るぐらゐにおびえるだらうと思ふんですか？ そんなものア農家ひやくしやうの爐で爆る栗の音の半分にも當りませんよ。てッ！ てッ！ 子供はお化けで威すがいゝ。

グルミ

旦那にそんなお話は無駄です。

グレ

ねえ、ホオテンシオさん。……ちやうどいゝ處へ此方がお見えになつたわけです、おそらく、此方の爲にも、又われゝの爲にもです。

ホオ

そこで、此方の求婚費をです、それが幾らかゝらうとも、わたしたち二人で以て負擔するといふことにお約束しましたよ。

グレ

よろしい、あの姉娘を手に入れてくれられさへすれば。

グルミ

(傍白) そりやたしかだ。が、それとおなじ程度に、たしかに御馳走にありつけるといゝがなア。

ルーセンシオに假裝して立派な紳士と見せかけたツラニオと其従僕らしくもてなしてゐるピオンテローと出る。

ツラ

(前の人々に近づきて) 諸君、御機嫌よう。失禮ながら、バプチスタ・ミノーラさんの邸への近路は、どう参りますか、お教へを願ひたい。

ピオン

美しいお嬢さんのお二人ある方です、で(とツラニオに)ございませう？



ツラ その通り、其方だ。

グレ ねえ、あなた。よもや其娘さんになんに……

ツラ いや、多分その娘さんにもお目にかゝるでせうが、……あなたはどういふ御關係があるんです？

ペトル (横合から) 怒鳴るはうの娘ぢや

ルー (傍白) ツラニオ、うまいぞ手始めが。

ホオ (ツラニオに) もし、一寸一言……

ツラ ……あなたは、只今お噂の其娘さんへ縁談をお申込なさうといふんですか？

グレ 申し込めば、何か御迷惑になることでもあるんですか？

ツラ ありません、もしすぐにこゝを立退いてさへ下されば。

グレ 天下の通路に對する権利は誰れしも同等ぢやないですか？

ツラ あの娘に對しては同等でないです。

グレ といふ仔細は？

ツラ 其仔細はです、お望みなら言ひませう、彼女は紳士グレミオの意中人だからです。

ホオ 彼女は紳士ホオレンシオの選擇濟であるからです。

ツラ まゝ、まゝ！ 若し兩君が紳士でおありなさるなら、一應わたしの申すことをお聞き下さい。バプチスタは、わたしの父とは萬更知らない仲でも

ない所の歴とした紳士であるんですが、其娘がもつと美人であつたならば、求婚者(きゅうこんじや)はもつと有つてもいゝわけであり、さうしてわたしが其一人(ひと)であつてもいゝわけです。現(げん)にリダの女(むすめ)のヘレンには一千人(にん)の求婚者(きゅうこんじや)があつたのです。で、ビヤンカにも、もう一人(ひとり)ぐらゐはあつても當然(たうぜん)なのですから、そこで此(この)ルーセンシオが其一人(ひと)にならうといふのです、よしんばパリス其(その)人がやつて来て、一人(ひとり)で以て占領(せんりやう)しようとしてもです。

ルー (ルーセンシオに)おや、此男(このをとこ)は、辯舌(べんせつ)ちや、わたしらを負(まか)しますよ!

グレ ねえ、やらしときなさいよ。きつとあの男(をとこ)は途中で疲憊(へいた)れてしまひますから。

ペトル ホオテンシオ、何(なん)の爲(ため)にこんなくだらんお喋舌(しゃべり)をしてるんだい?

ホオ (ツラニオに)失禮(しつれい)ながら、あなたはバプチスタさんの嬢(ぢやう)さんにお逢(あ)ひになつたことがありますか?

ツラ いゝえ、けれども、娘(むすめ)が二人(ふたり)あつて、一人(ひとり)は怒鳴(どな)るので有名(いうめい)、一人(ひとり)は美(うつく)しくつておとなしいので有名(いうめい)だと聞いてゐます。

ペトル ねえ、其第一(そのだい)のはうは僕(ぼく)のだから、手(て)を出(だ)しちやアいけませんよ。

グレ さやう、そのはうは大(たい)ハーキュリーズ君(くん)に任せ(まか)せとくことだ、例(れい)の十二(じふに)の大(たい)難業(なんげふ)以上の努力(どりよく)を要(えう)しさうだからね。

ペトル (ツラニオに)ねえ、かういふことをよく吞込(のみこ)んどきたまへ、あんたが規(ねら)つてる其(その)妹(いもうと)娘(むすめ)の親父(おやぢ)はだれにも會(あ)はせないやうにしてるさうだ、さうして總領(そうりやう)娘(むすめ)が結婚(けつこん)しツちまふまでは、妹(いもうと)には自由(じゆう)を與(あた)へない、どこへも遣(や)る約束(やくそく)はしないといつてるさうです。

ツラ 若(も)しさうですなら、あなたは吾々(われら)一同(どう)、といふうちにも、わたしに益(えき)を與(あた)へて下(くだ)さる方(かた)です。で、若(も)しあなたが氷破(こほりわり)のお手際(てぎは)をお現(あらは)しになつて、早速(さつそく)姉(あね)のはうをお手(て)に入れて、われ(われ)が妹(いもうと)娘(むすめ)へ接近(せつしん)する道(みち)を開(ひら)いて下(くだ)さる

なら、だれが成功者になりませうとも、一人としてあなたのお骨折に對して感謝しないやうな義理知らずはをりますまい。

ホオ (ツラニオに) お言葉御尤だ、御尤なお考へです。ところで、求婚者だとおつしやる以上、あなたもまた此方にお報いをなさらなけりやなるまい、われわれは一般に此方の恩を荷ふわけはなんだから。

シラ 承知しました。其印に、本日午後、わが戀人の健康を祝するための宴會を開きませう、さうして原被兩造の辯護士がやるやうに、法庭では大々的に争ひ、宴席では友として食ひ且つ飲まうぢやありませんか？

グルミ ビオン けつこうな動議です！ 同役、さ、行かうぜ。

ホオ 全くいゝ御提案です。さうしませう。……ベトルキオ、僕が君の東道にならう。

みなくはひ 皆々々入る。

第二幕

第一場 バデユア バプチスタの邸の一室

カサリナが妹ビヤンカを後手に縛つて引立てつゝ出る。

ビヤン

姉さま、わたしをこんなに縛つて、奴隷扱ひになさるのは、わたしを侮辱なさるんです、いゝえ、あなた御自身を侮辱なさるんです。いやしいなされ方です。よ、此手を解いて下さい。こんな玩具のやうなものは自分で打捨りますよ、然々、着物でも何でも。下袴だけにだつてなりますよ。あな

たのおつしやる通り、何でもしますよ、長上に對する義務は、わたしよく知つてますもの。

カサリ (手強く) お前へ縁談を申し込む男のうちで、お言ひなさい、お前の一等好きなのはだれだい？ 嘘吐くときかないよ。

ビヤン 姉さま、正直わたし、生きてる人のうちで、特別に好きといふやうな顔の人はありませんのよ。

カサリ 此あばづれめが、嘘を吐け。ホオテンシオぢやないの？

ビヤン 姉さま、あなたあの方が好きなら、わたし誓つて、あなたの爲にあの方を説きますから、御亭主になさい。

カサリ ぢや、お前は金に惚れるはうだね、世間體を立派に暮さうてところから、あのグレミオにするんだね。

ビヤン ま、あなたがこんなに妬むのはあの人のため？ (思はず笑ひ出して) ぢや、あな

は戲けてるんだわ。分つた、先刻から戲けていらしたんだわねえ。よ
う、姉さま、もう解いて頂戴よ此手を。

カサリ これが戲けてるのなら(と手強く打擲して) 他のも悉皆ふざけてゐたのだ。

ビヤンカ泣き叫ぶ。

父バプチスタ奥から出て来て取りさへる。

バプチ これ、どうしたといふのだ！ なぜそんな無法なことをするんだ？……
ビヤンカ、そつちへ寄つてゐな。……(カサリナに) 可哀さうに。泣いてるぢ
やないか？……(ビヤンカに) 縫物をしなさい。姉さんにかまはないがい
ゝ……(カサリナに) やい、此ろくでなしの夜叉女めが！ なぜ罪もない者
を酷い目にあはせるんだ？ 彼女が汝の氣にさはるやうな何か不埒なこ
とでも言ひましたか、いつか？

カサリ 黙つてゐやがるから癪に障るんです。だから、返報してやるんだ。

ビヤンカに飛びかゝる。

バプチ (止めて) おれの目の前でもやるのか? ……ビヤンカ、あつちへ行きなさい。

ビヤンカ 入る。

カサリ おや、わたしの邪魔をなさるの? いや、よく分かりました、彼女はあなたの

御秘藏です、彼女にや亭主を有たせなけりやなりません、わたしは妹の婚禮日に跣足で踊を踊らなけりやなりません。(だん／＼泣きさうになりかけて)

あなたが彼女ばかりお可愛がりなさるから、わたしは地獄へ猿を牽いて行かんけりやなりません。いゝえ、聴きません。わたしは部屋へ往つて、一人で泣くからいゝわ、此返報が出来るまでは。

怒り泣きに泣きつゝ入る。

バプチ おれの身分で、こんな不幸な、情けない者があるだらうか? ……あ、だれやら来た。

眞先に、老求婚者のグレミオと寒書生らしく装つたるルーセンシオが、出る。つゞいて、豪放なバトルキオと音楽者らしく假装してすつかり見紛ふやうになつてゐるホオテンシオが出る。尙その後につゞいて、若紳士らしく装つてルーセンシオに化けたるツラニオと其従僕として琵琶一面と書籍数巻とを携へたるピオンテローが出る。

グレ 今日、バプチスタさん。

バプチ 今日、グレミオさん。…(皆々に) 皆さん、御機嫌よう!

ベトル (無遠慮に前へ進んで) あんたにも御機嫌よう。時に、あんたの許に、カサリナ

さんといふ美人で淑女だといふ評判の娘さんがありますか?

バプチ はい、カサリナといふ女はあります。

グレ (バトルキオに) あんまり無作法過ぎますよ。言葉づかひに注意なさい。

ペトル 無作法なことがあるもんですか！ 邪魔をしないで下さい。……（バブチस्ताにわたしはエローナから来た一紳士ですが、お嬢さんが美人で、聰慧で、非常に柔和で、内氣で、温雅貞淑であつて、驚くべき種々の資格を備へておいでだてことを聞いたもんですから、失禮ですが、お宅へ推參して、果してそれが噂通りであるかどうかを實驗したいと思つたのです。で、はじめで參上の水引代りに此仁を献上します。（とホオテンシオを紹介しつゝ）音楽と數學に精通してゐて、お嬢さんが豫てお修めだと承はつたこれらの學術を十分お教へすることが出来る男です。御受納下さい、でなけりやわたしは恥を搔くわけになる。名はリキオといひます、マンチュア生れです。ようこそおいで下さつた。さうして其お方も、あなたのお紹介ですから。だが、拙女カサリンは、あれは逆もあなたのお手には合ひませんよ、ですから詢に情けない次第で。

バブチ ぢや、お嬢さんを手離したくなくと思ひなのですか？ 或はわたしがお氣に入らん？

ペトル 誤解なさるな。有りのまゝを申してをるのです。一體あなたはどちらからお出でなすつた？ お名前は？

バブチ 名はペトルキオです。亡父アントニオは伊太利ぢうに名を知られてゐました。

ペトル わたしも存じてゐます。アントニオさんの御子息ですか？ よくおいでなすつた。

クレ （横合から）お話中だが、ペトルキオさん、どうかわたし共にも、憐れな請願者たるわたしどもにも、ちつと物をいはせて下さい。交代！ あなたはおッそろしく氣逸な人だ。

ペトル お、グレミオさん、これは失敬。實は、すぐにも實行に及びたいくらゐの

もんです。

クレ
さもありません。だがね、今に、縁談に及んだことをさへも後悔なさるでせう。……バプチスタさん、ペトルキオさんの御進物も全くの御芳志と信じてますが、わたしも同様の微意を表すために、あなたには特に多くお世話になつてゐる手前ですから、此（とルーセンシオを引合せつゝ）久しくライム市で修行してゐた若い學者を獻じたのです。希臘、拉典、其他どこの國語にも通じてゐます上に、音樂も出來、數學も出來ます。名はカンピオといはれます。どうか御受納の上お召使ひ下さい。

バプチ
これはどうもありがたう。……カンピオさん、ようこそ。……時に、あなた（とツラニオに）あなたは、まだどうもお目にかゝつたことがないやうですが、失禮ながら、どういふ御用でおいでになりました？

ツラ
御免下さい、失禮は手前こそです。手前は當市へは全く初めて參つた者

でありますにも拘らず、令嬢へ御縁談を申し試みたく存じますのです。美人であり淑女であるビヤンカさんへです。先づ御長女をといふあなた

の堅い御決心の件も承知の上で參上したのです。で、手前の願ひと申すは、素姓を申し上げた上で、他の諸君と同格の自由と權利と御歡待を得さへすれば満足です。で、令嬢がたの御教育用にと、こゝに粗末なる樂器と希臘、拉典の書籍を収めました此小包とを呈進いたします。もしも（と包を開きつゝ）御笑約下さいませれば、爲に大いに價値を生じます次第です。

バプチ
お名はルーセンシオさんですね。どちらからおいでです？

ツラ
ピザから參りました。ギンセンシオの倅です。

バプチ
ピザのあの大家の。噂では善く承はつてをりました。ようおいで下さいた。（ホオテンシオに）君は此琵琶を持つてつて下さい。（ルーセンシオに）君は此書籍全部を。すぐに弟子になる我女どもに會つて下さい。……（奥へ向

いて) ころ、だれかをらんか!

家僕一人出る。

おい、このお人たちを我女どものところへ御案内しろ。さうして二人にいへ、先生がたゞと。丁寧にお扱ひ申せといひな。

家僕に案内されてホオテンシオもルーセンシオも入る。ピオンテローもついでに入る。パプチスタは、残つた人々に

庭内を少し歩きましたから、食事にしませう。……おいで下すつたのを非常に喜ばしく思ひます。どうか十分にお寛ぎ下さい。

パプチスタさん、わたしは急用を持つてゐるんですから、迎も毎日来て御縁談なんかしてゐるわけにやアいかない。あなたは父をよう御存じである以上、父の性質から推して、わたしがお分りでせう。わたしは地面、財産一切を相續して、それを決して減さないで、むしろより良くしたといつて

よいです。ところで、若し娘さんに異議がないとなつたら、いよいよ結婚といふ段になつて、財産は幾ら娘さんにお持たせになるんですか、承はつときたい。

わたしは死後に、地所半分と所持金のうち二萬クラウンだけを遣はす積りです。

すると、わたしは、其持参額に對して、娘さんが、わたしに先へ死なれて、後家となつた場合には、わたしの持つてゐる限りの地所、借地権一切がつさいを譲ることを保証します。ついては、あなたとわたしとの間に、契約を双方共必ず履行するといふ特殊證書を取交すことにしませう。

はい、特殊物件すなはち彼女の愛をあなたが得なさりさへすればです。それが肝腎勘文です。

なアに、そりや何でもないコツです。といふのはです、お父さん、わたしの

我強さと來たら娘さんの高慢なんかには凹むやうなものはないのです。烈火が双方からぶつつかかりやア、其火勢を養成する筈の物が却つて打消されつちまふ。生中少しばかり風が吹くので、強くもない火めが煽られて燃立つが、非常な大風が吹くと、火も何もかも消えつちまひます。わたしは娘さんには大風です、だから娘さんが參つちまひます、わたしは手荒いから、赤ん坊のやうにや口説かないから。

バプチ どうか巧くお談じなすつて、成功して下さるやうに！ だが、どんな酷いことを言はれても驚かない覺悟をしておいでなさい。

ベトル はい、十二分に。風に對する山嶽の如くにです、山はどんな烈風が引切なしに吹立てたからつて、びくりともしやしませせん。

此時 ホオテンシオ、頭に劍を蒙つたらしく、顔色蒼白となつて出る。

バプチ (驚いて) どうしたのです？ なぜそんな眞蒼な顔をして？

ホオ 蒼ざめてますか？ おそろしかつたからです。

バプチ え、我女は音樂者たるに適してをりませうか？

ホオ 軍人のはうが適任でせう。研つたり撲つたりのはうは似合ひませうが、弾いたり鳴らしたりのはうは駄目です。

バプチ ぢや、彼女に琵琶を仕込んでいただくわけにやいきませんか？

ホオ 駄目ですとも。わたしの頭へ琵琶を叩き込むんですからね。わたしは只甲が違つてますといつて、指の使ひかたをお教へしようとしたばかりです、すると、おツそろしく腹をお立ちなすつて、「疝ですつて是れが？ ぢや、疝を起してよ！」とおつしやるや否や、わたしの腦天を琵琶で力一ぱいにビシヤリッ、で、頭が樂器の外へ抜けつちまつたんです。わたしは駭いて、暫く突立つてました、琵琶を首にはめたまゝで、まるで首枷を掛けられた形



しい娘ツ子だ。さう聞くと、更に十倍も可愛くなるね。あゝ、早く其娘ツ子と喋舌りあつて見たいねえ。

バプチ (ホオテンシオに) ねえ、ま、わたしと一しよにおいでなさい、そんなに弱り込んでしまつちやいけない。妹娘のはうを教へて見て下さい。彼女は習ひ得ます、さうして骨を折つて下さりや有りがたがりもする。……ペトル

ペトル こりやアどうも、實に愉快な、逞おきなすつたかと思ふやうに。
で。其間お嬢さんはわたしを胡弓弾野郎だの、ふがく坊主だの、其他それに類する悪口を二三十お竝べでした、豫てわたしを罵倒する爲に研究をしてお

キオさん、あなたもおいでなさるか？ 或はケートをこゝへよこしませう

か？

ペトル どうかさう願ひます。こゝで待つてまして……

バプチスタ、クレミオ、ツラニオ、ホオテンシオ入る。

見えたら、元氣よく説いて見ませう。……(獨語的に)悪口を始めたとする。おれは平氣で妙音鳥の囀る聲のやうだといつてやらう。怖い顔をしたとする。まるで朝露を帯んだ薔薇の花のやうに美しいといつてやらう。黙り込んで何にもいはないとする。何といふ氣持のいゝ辯舌だ、鋭利な舌刀といふのはこれだと褒めてくれる。「すぐ出て行け」と怒鳴つたら、「有りがたう。だが、逆ももう一週間と逗留することは」といつてやる。「結婚なんかだれがするもんか」といつたら、「ぢや、教會での披露は何時にしよう、式は何時にしよう」と反問してやらう。……やつて來た。さ、ペトルキ

オ、喋舌れ。……

カサリナ 佛頂づらをして出る。と極馴々しく

今日は、ケートさん。といふのが、あなたの名だと聞いたよ。

カサリ

お聞きなすつたでせう、けれども聞き苦しいわね、それぢやア。禮儀を知つてる者は、わたしのことを、カサリンさんと呼びます。

ペトル

嘘をおいひなさい。だれでもあなたのことを生地のカートだの、可愛いカートだの、どうかすると雷カートだのといひますよ。とにかくカートです、基督教國第一等の可愛いカート、ケート堂のカート、無類飛切のおいしいカート、ケート(珍差)といふ以上はおいしいは定りでせう。だから、ケートさん、ま、聞いて下さいよ。ねえ、我慰安のカートさん、僕はねえ、君が温雅で貞淑でさうして艶麗であるといふことに關しては、到る處の都市で豫て聞知してゐたけれども、尙其稱讚は、君の眞價に比べれば、

遙かに以下だと聞いたもんだから、君を説いて妻になつて貰はうと思つてやつて來たんだよ。

カサリ

(つッ慳貪に) 貰はうと思つてやつて來たつて? わたしはまた其遣つて來た人に、すぐ歸つて貰はうと思つてるんです。あなたは、見たところから、すぐと撥返りさうな家具に似てゝよ。

ペトル

撥返る家具に? といふのは?

カサリ

あなたは疊椅子よ。

ペト

けつこう。……さ、お掛けなさい。

と膝を差出して、ござれ腰になる。

カサリ

(侮蔑の目で見やつて) 載けるは驢馬の持前です。あなたがそれよ。

ペトル

いゝや、載けるのは女の持前です。あんたがそれだ。

カサリ

お生憎さま。わたしはあなたなんかを載けるやうな牝馬ぢやないのよ。

ペトル どうして、僕の大事のケートちゃんに重荷なんか負はせてたまるものか、可哀さうに、まだ年齒もいなくなつて、暢氣に氣輕に育つて來てゐるお嬢さんだ。

カサ いくら氣輕でも尻輕ぢやアないんだから、あなたのやうな農夫の手にやあはなくつてよ。へん、輕くつてもね、身分だけの品位も重量もありますよ。銃獵がある？ どこで？ そいつア危険だねえ。土鳩の癖にあんまりぼつぼと嘔つてると、きつとやられる。

カサリ 土鳩よりも土農夫のはうで用心するがい、いつ流れ弾が飛ぶかも知れないからね。

ペトル 成程、君はおこりッぽいねえ、くまん蜂式だ。

カサリ くまん蜂には毒針があるから、用心なさい。

ペトル そんな針なんか、今に引ッこぬいてしまふ。

カサリ へん、蜂の針でものは何處にあるか、多分兵六玉には分るまいよ。

ペトル 分らなくつてさ。尻に在るよ。

カサリ いゝえ、舌に在る。

ペトル だれの？

カサリ あなたのさ、お尻の話なんかするんだもの。……ぢや、もうさよならです。と行きかける。

ペトル え、あなたのお尻に舌を、僕の？……(行くのを止めて)ま、お待ちなさいよ、ねえ、大丈夫ですよ、ケートさん、わたしは紳士ですから……とまだ何かいはうとするのを憎々しげに睨んで

カサリ ぢや、試験してよ。

といふや否や手ひどく横面を撲つ。

ペトル (儼となつて)もう一度やつて御覽なさい、その鼻柱を叩き潰しますぞ。

カサリ

(尙尻目にかけて) そんなことをなさりや、あなた自身の面目玉のうが潰れませうよ、女を撲つのは紳士の行為ちやありませんからね。……ここにあり

や怒鳴りたくなるから、もう往きます。さよなら。

と又行きかゝる。



ペトル

どつこい、ま、お待ちなさい。聞いたとは大違ひだ。あなたは非常におとなしい人だ。噂ではあなたは亂暴な、高慢な、氣むづかしやだといふことだつたが、大嘘の皮だ。どうして、面白い、愉快な、非常に禮儀正しい人だ。

言葉少な過ぎるのが少々疵だけれど、まるで春の花のやうに可愛らしいねえ。(カサリンがこらへかれて、睨み附ける)。怖い顔なんかしようとしたつて、あなたの其可愛い顔立ちやア出来やしないや。睨み附けようとしたつても駄目だ。(カサリン悔しがって唇を噛む)。怒つた賤女のやうに唇を噛まうとしても、それも駄目だ。うんと逆捻に、意固地に出ようとしたからつて、本来が柔和で優しくつて愛嬌が有り過ぎるんだから、敵手が惚れなくとなつて、酒に酔つたやうになる。どういふわけで、世間でケートさんは跋足だなんて悪口をいふか? いひ加減なことを! ケートさんは眞直で、すらりとして、榛樹の枝よろしくだ、色も榛の實に似てるし、味も、それ以上においしいのだ。お、ちよつと歩いて見せて下さい。跋足なんて嘘の皮だ。

カサリ

馬鹿! 命令は自分の家の者にするがい。

ペトル あゝ、ダイヤナ神が彼の森林の中に在します折の御姿とても、此、王女の如き風情して室内に立ちたまへるケート嬢の麗しさにはよもまさらじとこそ思へ。あはれ、ダイヤナ神とケートとを取換へばや。さらばケートは清淨の神となれ、而うしてダイヤナをして只の猥りがはしき女子たらしめよ！

カサリ そんな氣のきいた文句を何處で習つて來たの？

ペトル 持つて生れた頓智に由る自作ですよ。

カサリ ぢや、阿母さんの遺傳のお庇だわね。あなた自身は……

ペトル 無論賢明でせう？

カサリ 然、だから、風を引かないやうに、早く引込んでお温まんなさい。

ペトル さ、だから、温ためて貰ふ人を拵へるために、縁談に及んでゐるんです。

ねえ、餘計なお喋舌を止して、明白にいふと、かうです。あんたを妻にす

ることは、もう既にお父さんの承諾を得てゐるんです、嫁入資産の事までも約束済です。で、あんたが何といはうとも、僕はあんたを娶るんです。即ち僕はあんたの夫だ、僕は僕をしてあんたの其美貌を見せしめ、其美貌を見えます、あんたを好いたらしく思はしむる所の此白日の光線によつて誓ふ、あんたは是非とも、一に、僕に嫁がなけりやならん。といふのはだ、ケートさん、僕はあんたを馴らすべく生れた男なんだ、山猫のあんたを手飼猫のあんたにすべき天職を有つて生れた男なんだ……あ、お父さんが見えた。いやだといつちやいけないよ。何でもかんでも、あんたを妻にせないぢやおかないんだからね。

パプチスタとカレミオとツラニオと又出る。

ペトル キオさん、我女との御談判はどんな鹽梅式ですか？ 御成功ですか？

ペトル どんな鹽梅式？ 成功は無論です。失敗しよう筈はないですよ。

バプチ

(カサリンの例になく沮喪してゐるのを見て) おや、どうしたのだい、我女？ え、カサリン？ ふさいでるぢやないか？

カサリ

(怨めしげに睨んで) あなたはわたしを我女と呼ぶんですか？ ぢや、いひますが、あなたは、わたしの爲に、慈愛深いお父さんらしい御配慮を下さいましたわね、こんな半氣ちがひと結婚させようなんて。こんな無法な、口ぎたない、怒鳴つて勝たうとばかりする亂暴人ッたらありやアしない。

ペトル

(バプチスタがげんな顔をするのをなだめて) お父さん、かういふわけです。あなたも世間も、嬢さんに關しては、全く間違ひ切つた批評をしてゐたのです。若し此嬢さんが我鳴り屋であるなら、それは何か政略の爲なんではせう。嬢さんは剛情張の我儘者どころでなく、まるで鳩のやうにおとなしいのです。氣が短いどころか、長閑で長くツて、春の日のやうでさ。忍耐強いことに於ては、グリゼルダ第二世といつてもいゝくらゐだし、貞操にかけて

カサリ

は羅馬のルークリーズをこのけです。で、つまり、我々二人は、いづれ、そのうち、或日曜日^{あるにちあつび}を以て式^{しき}を擧げること^{こと}に約束^{やくそく}しツちまつたんです。へん、日曜日^{にちあつび}が來りや、先づお前^{まへ}を絞罪臺^{かうさいたい}へ上らせて見せるからね、さう思つといで。

グレ

ねえ、ペトルキオさん、彼女は先づあんたを絞罪臺^{かうさいたい}へ上げさせて見せるといつてますよ。

ツラ

(ペトルキオに) これで成功^{せいこう}なんですかい？ ……ぢや、(と歎息して) われ〜の望み^{のぞ}はさらんばんだ。

ペトル

(なだめて) まゝ、諸君^{しよくん}。彼女はわたしの縁女^{えんぢよ}ですよ。われ〜どうしさへ満足^{まんぞく}してありや、君たち^{きみ}がかれこれいふには及ばんぢやないか？ 二人は差向^{さしむか}ひの時に、實^{じつ}は、斯う約束^{やくそく}したんです、人前^{ひとまへ}ではやつぱり雷娘^{かみなりむすめ}になつておいで、はい、ゐませうツて。ねえ、實際^{じつさい}、彼女^{あれ}が僕^{はく}を熱愛^{ねつあい}する其猛烈^{そのまうれつぷり}振

と来たら、迎も君たちは信じてくれまい。お、何といふ人情の深いケートだらう！ 僕の此頸へ絡み附くのですよ、キッスに次ぐにキッスを以てし、盟約に次ぐに盟約を以てするのですよ。だから、只一瞬間にして、僕は彼女に首ッたけになツちまつたのです。お、君たちはまだく青いよ。世間知らずだよ！ ね、妙なもんだよ、男と女は差向ひになるといふとだ、おそろしい雷女が、案外にも、意氣地のない亭主の手でおとなしくさせられることがあるもんだよ。……ケートちゃん、手を。(とカサリンの手を取らうとする、カサリン手ひどく振拂ふ。それにはかまはず) 僕はこれから、エニスへ往つて、婚禮の式服を買つて来よう。……お父さん、披露の祝宴の準備をして、客を呼んで下さい。カサリンはきつとうつくしくなりますよ。(呆れて) 何といつていゝか分らん。だが、ともかくも手を。(とペトルキオと握手して) ちや、ペトルキオ、御機嫌よう！ これが結婚のお約束。

バプチ

ツグレ

ペトル

アーメン！ とわれくもいひます。さうして證人になりませう。お父さん、それから(とカサリンを見返る。ぶりくして横向く、それにかまはず) それから諸君、さよなら。どりやエニスへ往きませう。日曜はすぐに來るから。(と浮れて、だんくに言葉に調子を附けて) 指輪が要ります、晴着が要ります、いろく要ります。ところでケトさん、キッスをしとくれ、日曜にや二人が婚禮だ。

とカサリンを抱いてキッスしようとする。カサリン怒つて手荒く突きはなし、無言で一方へ入る。ペトルキオは愉快さうに笑つて他方へ入る。

グレ

(呆れて) こんな急な、だしぬけの婚約てものが、いつぞか、どツかにあつたらうか！

バプチ

諸君、正直のところ、わたしは貿易船の役廻りをしてゐるのです、一かばち

かの冒険を海外の市場に對つて試みてゐるのです。

ツラ ですが、其代物は、どうせお仕舞になつてお置きになつても、どうにもかうにも捌け口のなかつたものなんでござんせう。ですから、うまく行けば御利益、行かなければ海の藻屑。

バプチ 其利益とてもです、只もうおとなしく連添つていつてくれ、ばい、のです。

グレ おとなしく捉つてしまひなすつたには相違ありません。……ところで、

ツラ バプチスタさん、妹さんの一件です。われ、くが待ち焦れた日がいよく來ました。わたしは御隣家の者でもあり、真先の求婚者でもあります。

ツラ 而うして手前は、到底言語を以て證明すべからざる又あなたの推測し能はざる程度にビヤンカさんを愛慕してゐる者です。

グレ (角目だつて)二才さん、お前なんぞにや迎もくおれのやうな深い愛情のあらう筈はない。

ツラ 爺さん、お前なんかの戀愛は半分がたもう凍ツちまつてるんだ。

グレ お前のは熱し過ぎて焦附いてる。ちよび助め、すつこめ。年寄でなけり

や女の口を養つちや行かれない。

ツラ 若い者でなけりや女の目を嬉しがらせるわけにやいかない。

二人 いよく 角目立つ。

バプチ (止めて)まゝ、兩君。其争ひはわたしに裁かして下さい。これは、是非とも、

證書に勝敗を決せしめませう。すなはち、兩君のうち、何れが、ビヤンカに、一層多くの養老資金を遺さうと約束せられますか？ 其多いはうへビ

ヤンカをさし上げませう。……グレミオさん、あなたは彼女に何々を遣ると約束して下さい。

グレ 先づ、御存知の如く、當市内のわたしの邸には、金や銀の皿、小鉢が十分に備へ附けてあります。ビヤンカさんの美しい手を洗ふための水盤もあれ

ば、瓶もある、壁代は悉くタイヤ織です。象牙づくりの金匣には金貨が一ぱいあります、榛柏の箆筒には花毛氈や高價な晴衣や天幕や天蓋や上等のリネンや眞珠を浮飾りにした土耳其蒲團や金糸で刺繡をした、エニスの手帳や、其他、洋銀だの、黄銅だの、およそ家に屬し、家政に入用なものは何でもありません。それからわたしの農園には、いつでも需要に應ずる乳牛が一百頭、又小屋には一百二十頭の肥り返つた去勢牛がゐます。其他、此約定條件に應すべきものは何でもありません。わたしは齡を取り過ぎてゐます、それは自白します、随つて、若しわたしが明日にも死ねば、右の財産が悉皆娘さんのものになります、若しも娘さんが一にわたしのものになれば、「二」はよかつたね。……(バプチスタに) ねえ、わたしのを聽いて下さい。わたしは父の嗣子です。若しわたしが令嬢を妻にすることゝなれば、富裕なるビザの市壁内に於て、四ヶ所乃至五ヶ所の堂々たる邸宅を——グレ

ツラ



ミオさんのバデュアのどの邸に比べても決して遜色のないのを——令嬢に

グレ

遺します。尚その外に、豊饒なる田地からの年々の上り高二千兩をも總て妻の養老資として遺します。……どうです、グレミオさん、参つたらう？
田地からの年々の上り高が二千兩！ わたしの田地は、迎もそれ程にはなりません、とにかく、残らず嬢さんへ遣りま

す。尚其外に、目下マーセーリズへ着く筈になつてゐる大貨物船が一艘あります。どうだね、ツラニオさん、この貨物船では閉口に及んだらう？

ツラ

グレミオさん、わたしの父の所有に属する大貨物船が三隻以上だといふことは天下周知の事実です。其外に二隻の巨船と十二隻の防水船があります。それら一切をビヤンカさんへ約束します。及び(とグレミオに)何でも、君が此上提供しようとするもの、二倍だけを約束しませう。

グレ

いや、わたしはもう有りツたけを提供してしまつたから、もう何にもない。わたしの持つてゐる一切以上をビヤンカさんへ遺すわけにはいかない。持つてゐるだけでよろしければ、何もかもお約束通りにします。

ツラ

ぢや、令嬢は、堅い御前約通り、わたしの物です。グレミオさんは競り負けです。

バプチ

(ツラニオに)あなたの御提供を第一等と認めないわけにはいきませぬ。ところで、あなたのお父さんに、我女があなたの妻であるといふ保証をして貰ひたい、でないと、失禮だが、あなたがお父さんよりも先へ亡くなつた場

ツラ

合に、我女の養老資の出どころがありますまい？
そりや少々御見當ちがひでせう。親父はもう老人です、わたしはまだ若いのです。

グレ

(獨語のやうに)若いからつて、老人同様に死なゝいわけにやいかない。

バプチ

さて、兩君、…わたしは斯う定めました。次の日曜に、御承知の如く、長女カサリンが結婚します、で、其次の日曜にビヤンカを(とツラニオに)あなたへ嫁入らせます、若しあなたが只今のお約束通りになさるならば。が、若しなさらぬとなれば、グレミオさんへ。…では、これでお別れします。

グレ

さよなら、御機嫌よう。……

バプチスタス。

(ツラニオを尻目にかけて、傍白)汝なんか怖かないぞ。……(ツラニオに)おい、

賭事師どん、お前の親父さんは馬鹿だねえ、お前に何もかもくれツちまつて、死際になつて、萬事お慈悲をお前に乞ふなんて。ちえツ、馬鹿々々しいこつた！ 伊太利の古狐はそれほど馬鹿深切ぢやないよ。

入る。

ツラ

今に見ろ、其狡猾な皺だらけの皮をひんめくつてくれる！……だが、十點の札で虚喝つてくれたが、みんな御主人のお爲になるやうにと思ふばかりだ。ところで、似せ者のルーセンシオが似せ者の「ギンセンシオ」といふ親父を拵へなけりやならんのだが、不思議だなア、親父が子供を拵へるのなら當り前だが、此縁談では、首尾よくいけば、子供が親父を拵へることになるんだ。

入る。

* * * * *

第三幕

第一場 バデユア バプチスタの邸

學者に假裝したるルーセンシオと音樂者に假裝したるホオテ
ンシオとビヤンカと出る。

ルー

樂師さん、ま、お控へなさい。あなたはあんまり無遠慮過ぎますよ。あなたはお姉さんのカサリンさんから受けなすつた待遇をもう忘れたんですか？

ホオ だつて、學者さん、この方は、お姉さんとは違つて、音樂の女保護者でいらつしやるんだから、全權を僕にお譲りなさい。僕が先づ一時間音樂をお教へした上で、君も其同じ時間だけ講義をしたらいゝだらう。

ルー

馬鹿な、理窟に合はないことをいひたまふな。君は音樂は何の爲に作られたかといふことだけを讀んぢやゐないだらう！ 音樂でものは、人が勉強をしたり労働をしたりした後で、其心を休め慰めるために聽くものだらうぢやアないか？ 然ればだ、先づ學問の講義をわたしにさせるのが順當だ。わたしが止めたなら、音樂の教授をなさい。

ホオ

おいゝ、さういふ無禮なことを君がいやア……

と二人が角目立つ。

ピヤン

(止めて)ま、お二人さん、わたしの事で、お争ひなさるのは、わたしを二重に侮辱なさるのです、その選擇權はわたしにあるんでせう。わたしは灣泊

者の小學生ぢやありませんから、時間で縛られたり、順序を豫定されたりして習はうとはしません。自分の好きなやうにして習ひます。ですから、争ひの根を絶つために、(とルーセンシオに)ね、こゝへ腰掛けませう。(ホオテンシオに)あなたは樂器を取つて彈いて見て頂戴ね。調子が整ふまでには、講義が済むでせうから。

とルーセンシオを促して同じ長椅子に竝んで掛け、書籍を纏きはじめ。

ホオ

ぢや、調子がすつかり合へば、講義のはうはお止めになるんですか？

ルー

(口のうちに)決して合はんね……(大きな聲で)樂器の調子をお合せなさいよ。

ピヤン

(書物を開きて)どこで止したんでしたらう？

ルー

こゝでした。

ホオテンシオは樂器(笛?)の調子を合せはじめ。

ルー *Hic ibat Simois; hic est Sigieia tellus; Hic steterat Pyrami regia celsa senis.*

ピヤン 譯して下さい。

ルー (小聲で) *Hic ibat* 前にもいつた如く——*Simois* わたしはルーセンシオである——*hic est* ビザのギンセンシオの息子である——*Sigieia tellus* あなたの愛を得んがために斯くの如く假装した——*Hic steterat* さうして求婚に来る所のルーセンシオは——*Pyrami* 私の従僕のツラニオである——*regia* わたしの風采を装つてゐる——*Celsa Senis* 爺馬鹿を欺く爲に。

ホオ 嬢さん、調子はもう合ひました。

ピヤン 奏して見て御覽なさい。(ホオテンシオ奏して見せる。)……あら、いやな！ ま

るで合つてやしないわ。

ルー (ホオテンシオに) 穴へ唾でも吐込んで、やり直して見たまへ。

ピヤン (書物を控へて) さ、わたしが讀んで見るわ。譯せるか知らん。*Hic ibat Simois*

わたくしはまだあなたを知らない、——*hic est Sigieia tellus* わたくしはあなたを信ずることが出来ない——*Hic steterat Pyrami* 彼れに聞えるといけませんよ——*regia* たかをくつちやいけない——*Celsa Senis* 絶望しちやいけない。

ホオ 嬢さん、こんどは合ひました。

と又奏して見せる。

ルー ベーズ(バス音)だけが合つてゐないよ。

ホオ ベーズだけは御道理だ。とかく不快な音色を出す奴はベーズ(賤奴)だからね。……(口の中で) 何といふ猛烈な、ぶうくしい奴だ、あの書生ッぼうは！ きつとあいつはピヤンカさんを口説いてやがるに相違ない。物識屋どん、これからは油断をしないぞ。

といひつゝ、又樂器の調子を直してぬる。

ビヤン (小聲でルーセンシオに) そのうちには信用するでせうけれど、今は疑ぐつてよ。

ルー (同じく小聲で) 疑ぐらないで下さい。といふのはです、(と大きな聲で) たしかにアジャックスはイヤカスの血統です、お祖父さんの名に因んで、アジャックスと呼ばれてゐたのです。

ビヤン (笑ひ出しながら) 先生のおつしやることですから、信じなけりやならないわ。でなけりやわたしいつまでも疑ぐつてるでせうけれど。(快活に笑ひながら) ですが、ま、それはいとしませう。……(ホオテンシオに) リキオさん、さ、あなた番よ。(ホオテンシオがいやな顔をするのを見て) 先生、わるく思つて下さつちやアいやよ、わたしがふざけてゐたからつて、(とルーセンシオに) ねえ、お二人とも。

ホオ (ルーセンシオに) 君はちつと外へでもいつて、下さい、僕がお教へする間

僕のは三人のちや教へにくいんだ。

ルー そんなにやかましいことをいふのかい？ よろしい、しかたがない、待つてゐよう。……(傍) 見張つて、やらう。あの音楽屋め、どうもあぶない、だんく色ツばくなつて來やがる。

少しく立離れる。

ホオ 嬢さん、楽器をお使ひになる前に、指の使ひかたをお教へするため、初歩から始めますよ。極簡畧な方法で音階を教へます、從來此専門の者がお教へするよりもずつと愉快な、有效な方法で。ここに綺麗に書いてあるのがそれです。

と書いたものを示す。

ビヤン でもわたし、音階はとうに習ひましたの。

ホオ けれども(と小聲になつて) ホオテンシオのは別ですからお読みなさい。(と本

名を名宣る。

ピヤン

(讀む)音階、予はあらゆる諧音の基礎なり。A、ホオテンシオの切なる情を代辯せんとす。B、ピヤンカよ、彼れを所天として迎へよ。C、彼れは真情を傾けて君を愛す。D、予に一つの鍵と二つの調子とあり。E、憫みを垂れよ、然らずんば、予は死なん。……(ホオテンシオに)これが音階ですの。ちよつ、わたし嫌ひ。舊式のはうがすつといゝわ。わたし正しい古い規則を變的な新工夫と取換へたりなんかするほどそれほど物ずきぢやなくつてよ。

家僕 一人出る。

僕

お嬢さま、お父さまが御書のお稽古をお止め遊ばしまして、お姉さまのお部屋のお粧飾をお手傳ひ遊ばしませとお頼みでございます。明日は御存知の御婚禮日でございますから。

ピヤン

お二人の先生さま、さやうなら。用が出来ましたから。

ピヤンカと家僕と入る。

ルー

(見送りつゝ)嬢さん、ではわたしもここにゐる必要はありません。つづいて入る。

ホオ

(獨りになつて)あの書生、ぼうめを一詮義しなくぢやならんぞ。どうも惚れてるのらしい。……ピヤンカさん、若しも君がどんなつまらない圈にでも目をうるく向けるやうな、そんなさもしい料簡なら、好きなものをお攫み。君は浮氣者だと定ツちまやア、ホオテンシオは敵手を他で求めるよ、君を捨てよ。

はひ入る。

第二場 バデユア バブチスタの邸の前

パプチスタとグレミオとツラニオとカサリナとピヤンカと學者に假装せるルーセンシオ其他出る。從者つゞく。

パプチ

(ツラニオに)ルーセンシオさん、けふがカサリナとペトルキオとを結婚させる筈の日ですが、まだ婚どのから知らせがありません。(心配げに)どんなことをいひ觸されるか? 僧官が来て、いよく結婚式を行はうとする段になつて、花婚がゐないなぞといふのは、何といふ嘲弄の種であらう? ルーセンシオさん、わたしどもの此恥辱をどう御覽です?

カサリ

わたしだけの恥辱です。わたしは、いやでたまらない、氣まぐれの、半氣ちがひの亂暴者に無理無體に結婚させられなかりやならんのです。あの男は、性急に縁談を申込んでおいて、而ものろくさと式を擧げようといふのでせう。だから、あいつは氣のちがつた馬鹿者だといつたんです。不作法な行爲で駄洒落の毒舌を塗隠してゐるんです、さうして面白い極樂蜻蛉

だといふ評判を得るために、千人も二千人もへ縁談をいひ込んで、式の日をも定めて、友達を招待したり披露式を行つたりするんです。けれども其申込んだ敵手と實際結婚する氣なんかあるもんですか! さ、かうなると、世間ぢうの者がわたしに指さしをして、御覽、あれが氣ちがひのペトルキオの細君だといふでせう、萬一にもあの男がやつて来て、式を擧げるやうだと。

ツラ

まゝ、カサリンさんも、パプチスタさんも、御心配なさるな。わたしはペトルキオさんにそんな悪意は決してないと信じます。どういふわけで約束をおちがへかは知らんですが、あの方は、無作法だけれども、非常に聰慧な人です、陽氣な、面白い人ではありますが、眞面目な、正しい人です。

カサリ

でもわたし、あんな人間に逢ふやうなことがなかつたらよかつたものを!

と泣きつゝ入る。ピヤンカ其他もついて入る。バプチスタと
グレミオとツラニオとルーセンシオら残る。

バプチ (カサリナを見送つて) もつともだ。泣くのも無理はない。こんな目に逢つち
やア聖者だつてお悲みなさるだらう、況んや氣隨氣まゝで通して来たじや
〜馬の汝だ。

ピオンテロー 急ぎ足で出る。

ピオン (ツラニオに) 旦那さま〜！ 新聞です、珍聞です、すてきな古い新聞です！

バプチ すてきな新聞で而も古いといふのは？ そりやまたどういふわけだね？

ピオン だつて新聞でござんせう、ペトルキオさんの御入來てのは？

バプチ え、來ましたか？

ピオン いゝえ。

バプチ ちや、どうしたのです。

ピオン 來かゝつてゐなさるんです。

バプチ いつ、こゝへ來ませう？

ピオン さ、手前の今立つてるこゝんとこへ來て突立ちなすつた時にでせうね。

ツラ だが、古い新聞だといつたわけは？

ピオン だつて、ペトルキオさんが來なさるんですよ、新しい帽子をかぶつて、古い
チヨッキを着て、三度裏返しをした古細袴を穿いて、一度燭臺入れになつて
た古長靴の、一方は緋金、一方は笹縁で奴をつツかけて、町の武器庫から拾
ひ出して來た赤鯛の、櫛も鏢も折れた奴を佩下げて、尻ツ骨の歪んだ馬に
乗つて、其鞍は蟲喰ひだらけ、其鐙は無類、おまけに、其馬は鼻疽に罹つて
ゐて、脊骨を病んでもゐて、上脛が腫れてゐて、瘤が出来て、蹄にも故障
があつて、後脚蹠節は來つて、黄疽にもやられて、耳瘤と來ちやア骨絡
みだし、暈倒症は持病、胃の蟲は附き物、脊は曲つてる、肩ツ骨は脱れてる、

前脚は接近してる、やつと頬半分がたの轡にや羊革の絡頭、それもね、奴を
躓かせまいって、あんまり強く引張つたので、もう何度もちぎれたのを綴



くり繕つて結び玉だらけと
いふ奴、腹帯とても、もう六遍
も縫ぎ合せた奴、鞆と来ては、
女用の天鷲絨仕立て、飾り紐
にや其女の名頭の二字が麗々
と浮上つてゐる上に、あつち
こつちを荷繩で以て繋ぎ合せ

てあるといふ厄介千萬な代物なんです。

バブチ だれか一しよに來ますか？

ピオン はい、馬丁が一しよです。それがまた、實にその、只今申した馬よろしく

の扮装なんです。一方の脚にはリネンの股引を穿いて、一方には毛織の
長靴下を穿いてゐます。その飾紐が赤と青との織端。それから古帽子、
それへ四十種ほどの變的れんの思附が羽根の代りにぶらさがつてゐるん
です。まるで衣裳を着た化け物でさ、逆も基督教國の馬丁や紳士の御家
來なんかとは見えません。

ツラ そんな風をするてのは、あの男、また何か、例の變な體液にでも刺戟された
んでせうよ。もつとも、時々、粗末な服装で出掛けるともあるんですが。
とにかく、ペトルキオさんが來てくれたのは有りがたい、服装はどんな風
であらうとも。

ピオン 來たんぢやありませんよ、ペトルキオさんが。

バブチ でもお前さん、今來たといつたぢやないか？

ピオン え、ペトルキオさんが？ 來たといひましたか？

バプチ さやう。さういひなすつたよ。

ピオン いゝえ、馬が來ましたんですよ、ペトルキオさんをば載けてね。

バプチ 一つこつた、そりや。

ピオン (鼻唄)

なんの 一つこと!

誓文くツされ、

二錢賭けまじよ、

お馬と人とちや

一つよりや餘計だ、

たんとちやなけれど。

このうちペトルキオとゲルミオと出る。ペトルキオは前記の如き奇妙不思議の服装をして、手に鞭を持って、今馬から降りた

といふ風で、無作法に、亂暴に駈けて入る。皆々其亂暴な態度に面くらふ。

ペトル (雷聲で) さ、さ、奴等はどこにゐる? だれかをらんか?

バプチ (無作法なのに呆れながら、ともかくも出迎へて) よく來て下すつた。

と形式的に挨拶する。それをじろりと見て

ペトル あんまりよう來たらしくもないね。

バプチ でもお達者にやつて來なすつたらしい足附だ。

ツラ もう少し體裁のいゝ身装をしてやつて來て貰ひたかつたねえ。

ペトル 體裁がもつとよかつたからつても、僕はやつぱり此通り躍込むんだ。……

：ケートは何處にゐる? 可愛い花嫁さんは何處にゐるんだ? ……え、

おとつさん、どうしたんです? ……諸君、佛頂づらをしてるね。なぜそ

んな顔して見てるんだ我々を、此立派な同勢を? 何か奇怪な現象でも見

附けたやうに、慧星でも発見したやうに？

バプチ だつて、けふはあなたの結婚式の當日でせう。實は、最初は、おいでなさいらないのではないかと心配したのでしたが、そんな體裁で來なすつたのを見ても、更に新たに不安を感じるわけです。早くそんな見ともない服装をお脱ぎなさい、あなたの身分にさはる、嚴肅な儀式の目障りになります。一體、どういふ據ない理由があつて、こんなに妻君のところへ來るのがおくれたのみならず、そんな、不似合な装をして來たのです？

ツラ 話すのもおつくだし、聞くのも面倒だらう。約束通り來た以上、それで澤山だらう、少々横道へ外れたとはいへ。いづれ、閑な時に、諸君が成程といふやうに説明しようよ。が、ケートはどこにゐるんです？ 出て來かたが遅いぢやないか？ すんく時刻が経つ、もう教會へ行く時刻だよ。そんな無作法な装で花嫁さんに會ふのはおよしなさい。わたしの室へ來

て、せめて、わたしの着物をお着なさい。

ベトル いや、決して。是非このまゝで會ふ。

バプチ だつて、よもやそのまゝで結婚はなさりやすまい。

ベトル いや、このまゝでします。かれこれ言ふのは無用だ。彼女は僕と結婚するんだ、着物と結婚するんぢやない。どうか彼女が身に着けてるものを僕が此粗服を取換へる得るやうに仕立直してしまひたいものだ。さうなりや彼女の爲にもいゝし、僕の爲にもいゝんだ。だが、君たちと喋舌くつてる場合ぢやなかつた、花嫁のところに往つて、お早うといつて、愛のキッスをして權利を確定しなけりやならなかつた。

ベトル キオとガルミオと入る。

ツラ (バプチスタに) 何か意味のあることとせう、あの氣ちがひめいた扮装には、出來るものなら、教會へ行く前に、服装を改めるやうに説得しませう。

バプチ わたしは従いていつて、様子を見て來ませう。

バプチスタとグレミオと 従者と入る。

ツラ

(何かルーセンシオと囁いてゐたが) ですが、御當人の承諾だけでは足りませんよ、親父さんにも諾といはせなけりやいけません。それには、前にも一寸申し上げましたつけが、一個人間が要ります——だれでもいゝのです、此方の目的に適はせるやうにしさへすればいゝのですから——その男がピサのギンセンシオさまになるのです。さうして此バデュアで、手前が約束しました以上の額面を遺すといふ保證をしますのです。さうすれば、あなたが無事にお望みを遂げて、異議なくビヤンカさんと結婚なさることが出來ます。

ルー

あの同僚の家庭教師めが、あんなに目ばしこくビヤンカを看守してゐなけりや、内密で結婚しツちまつたはうがました、結婚さへ濟んぢまへば、世界

ちうが不可いといはうと、何といはうと、こつちの物はこつちの物だけだ。

ツラ

その邊も、おひくよく視察しまして、御都合のいゝやうにしたいと、機會を待つてゐます。先づ、あの白髪頭のグレミオや目ばしこい、脱落のない親父さんや、あの一寸喰へない音楽者の色事師を騙すことに着手させう。これはみんな、旦那さま、あなたのお爲にすることです。

グレミオ 急ぎ足で又出る。

グレ

グレミオさん、教會からおいでになつたのですか？ 學校から放免されたやうな心持でやつて來ました。

ツラ

では、新郎、新婦も歸つて來ますか？

グレ

辛勞とおいひなさるかり。いかに辛勞、辛勞！ あゝいふ雷婚を取つては、娘さんが嘸辛勞なことだらうて。

ツラ

ぢや、娘さん以上の雷ですか？ そんなことがあらう筈はない。

グレ

どうして鬼です、鬼です、全くの夜叉です。

ツラ

だつて、娘さんが鬼でさ、鬼の阿母でさ。

グレ

なんの、娘さんはあの男に比べりや仔羊です、鳩です。ルーセンシオさん、その仔細を話させう。……先刻、僧官がいよく式を行ふとて、ペトルキオさんに「然らばカサリンを妻とせらるゝや？」と式通りに問ひを掛けたら、あの男「無論！」と雷のやうな聲を出して誓言を怒鳴つたので、みんなが吃驚したが、僧さんは、覺えず、手に持つてゐた聖書をおつこととした。で、それを拾はうとして僧さんが新婦の裳裾近くへ蹲むと、氣ちがひめいた新郎は、拳固で僧さんを撲り附けたものだ、僧さんも聖書も、聖書も僧さんもでんぐり返るといふ騒ぎでした。と「さ、どいつでも、こいつでも、手が出せるなら出して見ろ！」と血眼になつて怒鳴つたものです。

ツラ

娘さんは何といひました、僧さんが起上つた時分に？

グレ

只もうぶるゝ顛へるばかりでした。といふのは亭主どのが足を踏鳴して怒鳴り立てるんですからね、まるで牧師が何か不正なことでもしたかのやうに。けれども、そのうちに、儀式がだんゝと濟んだ。と、彼れは酒を命じて「さ、祝盃！」と叫んだものです、船にでも乗込んでゐて、颯風の後に、同船者と無事を祝して「さ、甘葡萄酒をがぶりと飲つて、残つた實を残らず寺男の面へ叩きつけたものです、何にも理由はないのです、其男の髭が如何にも薄くて、飢るさうで、他が葡萄酒を飲んでるのを羨まましさうにして、せめて中の實だけでもくれろといつてるやうだからといふのです。それが濟むと、花嫁の頸根ツ子を引ツかゝへて、猛烈にキツスしたんです、唇が離れる途端に、どえらい音がして、教會堂に地響がしたほどでした。わたしはそれを見てあさましくなつて逃げて來ましたが、

すぐあとから一同がやつて来る筈です。こんな氣ちがひめいた婚禮は曾て例のないことです。……あ、あれをお聞きなさい！ 樂人どもの奏樂が聞えます。

音樂が聞える。

ハトルキオとカサリンとピヤンカとバプチスタとホオテンシオとガルミオと従者らと又出る。

ベトル

諸紳士及び友人諸君、お骨折ありがたう。諸君は今日僕と會宴するつもりで、御馳走の準備に及んでをられるらしいが、ところが、急に用が出来て、往かなけりやならんから、僕はこれでお暇するよ。

バプチ

そんなことがあるもんですか、とんでもないコツた。

ベトル

是非とも往かんけりやならんのです、夜にならんうちに。何も不思議がるにや及びませせん。其用件の性質が分れば、止めるどころか、早く往けと

お勧めなさるだらう。で、諸君、僕は諸君に感謝します、お庇で、かういふ極めて忍耐強い、可愛らしい、貞淑な妻を娶りましたことをです。舅と宴を共になすつて、僕の健康を祝して下さい。僕はお別れしますから。では、諸君、御機嫌よう。

ツラ

せめて、祝宴後までお止まりを願ひたい。

ベトル

さういふわけにはいきませせん。

グレ

わたしのお願ひです、どうか。

ベトル

いけません。

カサリ

わたしのお願ひです。

ベトル

可ね。

カサリ

止まつて可いことッ！

ベトル

なアに、あんたが僕に止まつてくれと頼むのは可ねといったんだ。が、止

まりやしないよ、どんなにあんたが頼んでもだ。

カサリ ねえ、わたしを愛して下さるなら、止まつて下さい。

ペトル (見向きもしないで) グルミオ、馬を。

グルミ はい、もう準備は出来てゐます。燕麥めが馬を食つてまさ。

カサリ (憤激して) ちや、もう、勝手になさい、わたしは行きません！ けふは勿論、

あしたになつたつて、行きません、わたしの氣が向かない以上。出口は開

いてますよ。そつちが通り路ですよ。其長靴の青い間、たんとぬたくつ

てお歩きなさい。わたしはです、わたしは自分の氣が向くまでは、決して

行きません。はじめから斯ういふ無遠慮な態度をお取りだからには、つ

まりは、無禮な、意固地な亂暴者たるの實をお見せなさるに相違ないから。

と怒鳴り立てる。

ペトル あ、ケートさん、まゝ。さう怒つたもんぢやアないよ。

カサ

(猛り立つて) 怒らなくつて。

バアチスタ 其他取りさへようとして立寄る。

あなたに關係したことぢやありません！……お父さん、騒ぐにや及びま
せん。

グレ

(傍人に) そらこそ始まりますぞ。

カサリ

皆さん、さ、祝宴の席へいらつしやい。女は阿呆扱ひにされると思ひます、

反抗する勇氣がないといふと。

ペトル

ケートさん、あの手合は、お前がさう命ずれば、随分、宴席へ往くだらうよ。

……花嫁附きの諸君、花嫁の命令通り、宴席へおいでになつて、盛んに飲ん

で騒いで下さい、彼女の處女性を祝して、満を引いて下さい。氣ちがひの

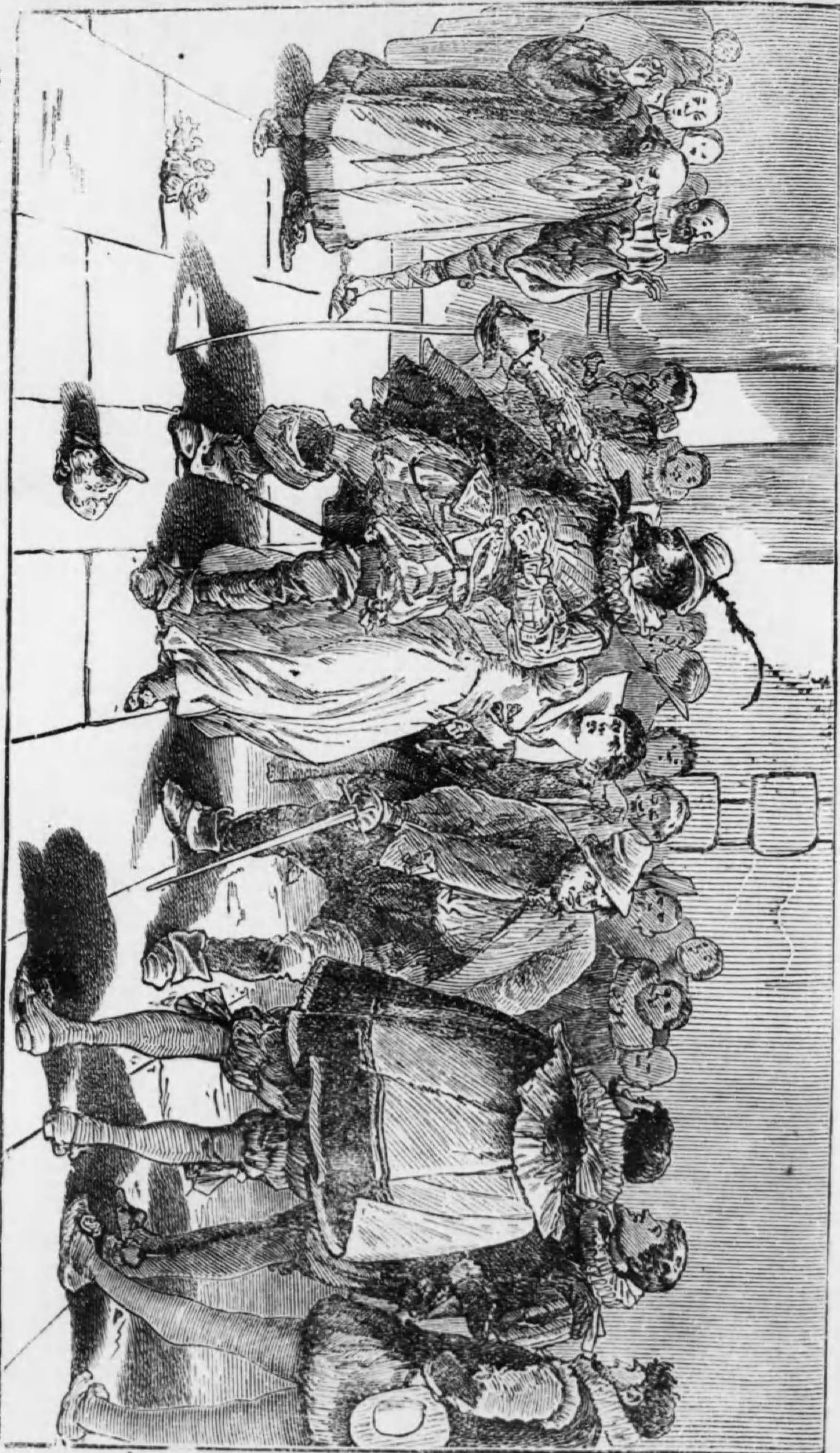
やうに浮れて下さい、それが厭なら首をお縊りなさい。但し、我可憐なる

ケートはです、ケートは僕と一しよに往かざるを得ないので……

ケートこれを聞いて、居丈高になつて氣込む。バトルキオは、わざとそれを他の男性らの態度であり表情であるらしくもてなして、ケートの方を見返りもしないで、特に一同の方を見つめてゐて

いゝえ、そんなに居丈高になつたつて駄目です。(ケート地鞆を踏む) 足踏なんかしたつて、(ケート睨む) 睨んだつて、(ケート悔しがつて身を焦る) 焦つたつて駄目です。僕はすべて我所有物に對しては主権者です。彼女は僕の所有品です、動産です。彼女は僕の家屋です、僕の家具です、僕の畠です、僕の小屋です、僕の馬です、僕の牛です、僕の驢馬です、僕の何でもです。現にこゝに(とケートを遮二無に引つかへて) 立つてゐる。さ、どいつでも、おれが此女を伴つてゆくのを止めて見ろ、パデュアで一等威張つてる奴だつても敵手にするぞ。(といふや否や腰剣をすらりと抜き放して) グルミオ、汝も抜け、盜賊に取巻かれてゐるんだ、汝が男なら、さ、早く奥さんを助け出せ!

(驚き怖)



れて、ふるえてゐるケートに)ケートちゃん、こはがらなくてもいゝよ、だれもお前をどうもしやしないよ。おれが附いてるよ、百萬人來たつて大丈夫だ。

ペトルキオはカサリンを引立て、グレミオと共に入る。皆々驚き呆れて見送る。グレミオは笑ふ。

バフチ (歎息して) いや、うつちやつときませう、あゝいふむつまじい夫婦です。

グレ はゝゝゝ、早く出て行つてくれたからよかつたが、さうでなかつたら、あんまり可笑いので笑ひ死したかも知れない。

ツラ 氣ちがひめいた結婚もたまにはあるもんだが、あんなのは未曾有だ。

ルー 嬢さん、姊さんをどう思ひます?

ビヤン 自身が半氣ちがひですから、氣ちがひめいた御亭主を迎へたんですわ。

グレ 雷男に雷娘は良い取合せだ。

バフチ 近隣の諸君及び友人がた、新婦新郎は席に缺けてをりまして、食卓に山

海の珍味は缺けてをりません。ルーセンシオ、あなたは新郎の席を充して下さい、ビヤンカを姊の席に着かせませう。

ツラ ビヤンカさんに嫁さんになる稽古をさせるんですか?

バフチ さやうです、ルーセンシオさん……さ、諸君、まゐりませう。

* * * * *

第四幕

第一場 ペトルキオの別荘

グルミオ 泥水まみれの姿にて、疲れ切つた體にて出る。矮驅の男である。寒さにふるえてゐる。

グルミ たまらんく！ もうく、疲憊馬や氣ちがひ 且那や凸凹の泥濘路は眞平だ！ こんなに人間が撲ちのめされたことがあるだらうか？ こんなに泥んこになつたことが？ 汝先へ往つて火を製へとけてんだ。さうして

後からやつて来て温まらうてんだ。おれが小鍋だから直と温まるからいゝやうなもんだが、でなけりや此唇は齒ぐきへ、此舌は上脣の天井へ、心臓は胴肚へ凍り附いちまつたらう、温まる火が出来ねえうちに。が、ま、火でも吹きながら温まらう。かう寒くツちやア、おれよりすつと圖體の大きいもんだつて、風を引いちまはア……（奥へ向いて）おゝい！ カーチス！

ペトルキオの他の僕カーチス出る。

カー 寒さうな聲で呼んでるのはだれだい？

グルミ 氷が呼んでるんだ。嘘だと思ふなら、おれの肩につかまつて見な、すぐにつるりと踵とこまで這り落ちツちまはア、まるで頭から頸根ツ子へ這つたかと思ふやうに早く……火だよ、カーチス。

カー 且那と奥さんとが来るのか？

グルミ あゝ、来るよ〜。だから、火だ、火だ。水をぶっかけちやアいけねえ。

カー 奥さんてのは、評判ちやア、火のやうな女だとかいふが、さうかい？

グルミ さ、今朝霜が降りたまでは、さうだつたがね、極寒となると、男でも、女でも、

けだものでも、みんなへこたれツちまふよ。且那もへこたれたし、新奥さんもさうだし、おれもへこたれたよ、なア同役。

カー 馬鹿いへ、此三寸角野郎が！ おらおめえのやうな獸類ちやアねえ。

グルミ おれのはたつた三寸だど？ ちや、おめえの角は一尺だ。おれのは（と呼子の角笛を出して見せて）少くとも此くらゐあらア。……だから火を製へねえの

かよ。製へなけりや奥さんに言ツつけるぜ。さうすりや火を製へなかつた報いで、おめえの目から火が出るぜ。

カー グルミオ、何か聞かしてくんなよ、面白い世間話を。

グルミ 面白いどころかい、寒くツつて〜、世間は冷上ツちまつてら。温かいの

カー はおめえの許ばかりだ。だから火だ。よ、お役目を勤めて、役徳に有りつきな。且那も奥さんも、うツちやつとくと、凍えて死んぢまひさうだから。火はとうに出来てるよ。だから話を聞かせなよ。

グルミ ちやア「太郎どんや！ ほう！ 太郎どんや！ ほう！」新聞、珍聞、お

望み次第だ。

カー おい、おい、悪黨の話なら幾らでも知つてる癖に。

グルミ だからさ、火を持って来なよ、冷くツつて〜こてへられねえから。料理番

はどこにゐるね？ 夕食の用意は済んでるかい、家の飾り附は、葎ツ葉を

蒔くのは、蜘蛛の巣をぶっ拂ふのは？ 給仕人は悉皆新しい綿服に着換へて、

白い股引を穿いたかい？ 役員連は婚禮服て奴を被つたかい？ 柔革盃

は内部を清潔に、金屬盃は外部を美麗にといふんだぜ。食卓掛を掛けた

かい？ 何もかも可いのかい？

カー あゝ、いゝよ。だから、何か話をよ。

グルミ 先づなア、馬がへこたれたね。且那と奥さんが轉落ちたよ。

カー どうして？

グルミ 鞍坪からすつてんころりと泥ン中へだ。それからが肝腎勘文なんだ。

カー よう、それを聞かせなよ。

グルミ 耳を貸しな。

カー さ、斯う。

と頭をさし寄せる。と、いやといふほど拳固で撲る。

カー (面をしかめて)これぢやア話を聞くんぢやアない、感じるんだ。

グルミ だから、感じんの話といつたんだ。いまの拳固は、おめえの耳の門口へ音

訪をして、さア聴きなよと知らしたんだ。これからが始まりだ。第一着

にだ、吾人は泥山路を降りかけたものだ、且那は奥さんのすぐ背後邊に騎

ツかつてね。

カー お二人が一疋の馬にかい？

グルミ (わざと不興げに)それがどうしたといふんだい？

カー だつて、馬がその。

グルミ (ふくれて)ぢや、自分で話をしな、おれはしねえ。邪魔しなけりや聞かして

やるんだつたに、——どうして馬がぶツ倒れて、奥さんが其下敷になつた

か、それに、そこが、おそろしい沼路なんだから、奥さんが二進も三進もな

らなくなる、且那が弱る、で、奥さんを馬の下になつてるまゝで放擲つとい

て、なぜ馬を蹉躓かしやアがつたてつて、おれを撲つ、奥さんがそれを止め

ようてんで、泥の海を涉つてやつて来る、且那は怒鳴る、奥さんは拜む、拜

んだことなんか曾ぞない人だに、おれは叫く、馬は駆け出す、手綱はちぎれ

る、鞅は失くなる、其外いろんな大切の紀念品がみんな失くなツちまつた



カー
一切がつかいが悉く忘却に及んぢまふんだ、さうしておめえは全然それを御存知なしのまゝで、墓中へ入ッちまふんだ。して見ると、且那のほうがお奥さんよりも悍馬だね。

グルミ
さうだ。今に歸つて見ると、それが分らア。威張返つてゐる家令だつて、家扶だつてきつと參ッちまふよ。だが、こんなことを喋舌つてるところぢやなかつた。ナサニエルもジョセフもニコラスもフィリップもウォルターもシューガーソップも、其他の手合も、みんな呼んでくんない。

カー
いゝよ。
グルミ
呼んでくんない。
カー
（奥に向つて）おうい！ お迎ひに出るんだぜ、新奥さんのお顔を立てるために。
グルミ
特に立てなくつたつて、奥さんにや持つて生れた顔があらアな。
カー
そりや知れたことだ。
グルミ
だつて、おめえ今、奥さんの顔を立てるためにといつたぢやねえか？
カー
なアに、奥さんをいやまふためだ。

グルミ なに、あやまる？ あやまるにや及ばねえや、叱られてるわけぢやアねえ。

此時奥よりナサニエル、フィリップ、ジョセフ、ニコラスらの家僕ら出る。

ナサニ や、ようお歸り、グルミオ！

フィリ どうだね、グルミオ！

ジョセ や、グルミオ！

ニコラ グルミオどん！

ナサニ どうだい、大將？

グルミ 御機嫌よう。……どうだい？……え、君……大將……挨拶はこれ

ツきりよ。……ところで、我が小意氣な同僚諸君、萬事よしかね、何もかも、揃つてるかい？

ナサニ よろしい。且那はもう直かね？

グルミ すぐだ、もう降りた時分だ。だから、何だ……しッ！、あの足音は且那だぜ。

此途端、バトルキオえらい勢ひでカサリンを引立て、躍り込む。さうして雷が鳴り出したやうに怒鳴る。

ペトル

野郎共はどこにゐるんだ？ どうしたてんだ、只の一人も扉口で鐘をおさへる奴がゐない！ 馬を連れてく奴もゐない！ ナサニエル？ グレゴリー？ フィリップ？

とつゞけさまに呼び立てる。家僕らみんな一しよに

僕共

へい、へい、へい、へい。こゝにをりまする、こゝにをりまする、こゝにをりまする。

ペトル

こゝにをりまする！ こゝにをりまする！ こゝにをりまする！ 此唐このたう變木の、禮儀知らずの、土ほぜりめら！ 出迎へもしやがらないのか？

尊敬も義務も知りやがらないのか？……先へよこした筈の大馬鹿野郎は何處にゐる？

グルミ へい、こゝにゐます。馬鹿さ加減は以前の通りでございます。

ペトル 農夫野郎め！ 此麥搗専門の駄馬野郎、宅の野郎共をひッばつて、公園まで出迎へろといひつけといたぢやないか？

グルミ でございますがね、折わるくナサニエルの外套が出来上つてゐません上に、ガブリエルの靴が飾りなしでして、それにビーターの帽子を燻さうと思ひましても材料がございませす、ウォルターの劍が錆附いたり何かしまして、それにアダムとラルフとグレゴリーの外は、皆な襦袢ッこの、乞食々々した物ばかり着てるんでして、けれども、ともかくも、かうしてお出迎ひいたしたのでございます。

ペトル さ、早く往つて夕食を持つて来い。

家僕ら 入る。とペトルキオは鼻唄を歌ひかける。

(唄)「きのふまでとは打つて變つた生活ぶりよ……どこに昨日の……ケートさん、ま、お掛けよ、よく来てくれたねえ……「スード、スード、スード、スード！」

此のうちに家僕らおひく 夕食の用意にかゝる。

おい、早く。どうしたてんだ？……ねえ、ケートちゃん、愉快にしたまへ。……えい、おれの靴を脱がせろ、間抜け！ 畜生、何をしてるんだ？

(又歌ふ)。

「古い御寺のさる聖僧が、けはし山路を行かしやるほどに……」
馬鹿、何するんだ！ 足がひッこぬけツちまはア。(と靴を脱がせようとしてぬる僕を撲つ)。
骨身にこたへたら、一方のはうは正當に脱せろ。……ケートさん、陽氣になさいよ。……水を持つて来い、水を。おい、こら！……

獵犬のドロイラスは何處にゐる？　こらく、汝早く往つて從弟のファーヂナンドにこゝへ來いといへ。……ねえ、ケートさん、來たら、あんたがキッスしてやつて、知交になつてくれなくちやならんよ。……上草履は何處にある？……水はどうした、水は？……

僕の一人水を持って來る。

さ、ケートさん、手をお洗ひ、ほんとによく來てくれたねえ。（といひつゝ、わざと突きとばして、家僕の手から水瓶を落させる。）　馬鹿野郎！　なぜ墜落すんだ？

と僕をなぐりつける。

カサリ

（見かれて、止めて）ま、どうぞ、堪忍なすつて。　つい、粗忽したんですから。

ペトル

此兇蟲頭の犬耳野郎め！……さ、ケートさん、お掛け。　あんたお肚が空いたらう。　さ、感謝をいつとくれ、ねえ、ケートちゃん。　僕がやるかね？……

此間に家僕ら飲食を選び出る。カサリはがつくして早く食ひたく思つてゐる。とペトルキオは自分の前の皿に目をつけて

何だこれア？　羊肉か？

一僕

へい。

ペトル

だれが持つて來た？

ピータ

手前が。

ペトル

（肉をつき散らして）こりや焦ツちまつてる。（又つゝいて）みんな駄目だ。何てどツ畜生どもだ！　料理番の畜生、何處にゐる！　馬鹿野郎ども、汝らはよくもこんなものを持つて來て、かういふのが大嫌ひのおれに食せようとしやアがつたな！　さ、持つてきやがれ、野郎ども、皿も、膳も、こんな盃も、何もかも持つてきやがれ！

と自分のほもとよ
り、ちやうど食ひか
けてゐたカサリンの
分をも引ッさらつ
て抛り出し、尙卓の
上のありとある限
りのものを片ッ端
から抛り出す。

間拔の、とんちき、無禮者め
が！ え、ぶつくさいふのか？
うぬ、思ひ知らせてくれる。

と立ちかゝる。カサ
リンこらへかれて、



止めて

カサリ どうぞ、あなた、そんなに興奮なさないで。今の肉は結構でしたの、あ
なたが御不承さへなされば。

ペトル いゝえね、ケートさん、焼け過ぎて、乾枯びツちまつてたよ。あゝいふも
のを食ふと、疝が高ぶつて、怒りッばくなるから、決して口にしちやならん
と、醫者に禁ぜられてるんだ。お互ひは疝癪持だから、あゝいふ炙り過ぎ
たのを食ふくらゐなら、斷食したはうがいゝんだ。忍耐をおし、明朝にな
りやもつとどうかなる。今夜だけは斷食しよう、連立つて、二人とも。
さ、寢間へ案内しよう。

やにはにカサリンを引立て、入る。
家僕ら上手、下手よりそろく、と出る。

ナサニ ピーター、こんなことを見たことがあるかい？

ビータ 旦那の遣り口は毒を以て毒を制するんだ。

カーチス 又出る。

グルミ 旦那は？

カー 今奥さんのお居間で、節制といふことに就いてのお説法がはじまつてるとこだ。さうして旦那は我鳴るやら、怒鳴るやら、ひッ叱かるやらだ。で、奥さんは、可哀さうに、まるで、夢を見て、今日を覺したといふ風に、腰を掛けたツきりで、どつちへどう往つて、どつちを見て、何といつていゝか迷つてゐなさる。……逃げろ〜！ 旦那がやつて来た。

皆々 大急ぎで逃げて入る。

ペトルキオ 又出る。

ペトル

(獨自)まづ、斯う豫定通り、うまく支配權を握りはじめツちまつた以上、大丈夫、成功に終るだらう。おれの鷹め、おそろしく空腹なので、焦々して

ゐやがる。いよ〜屈伏れツちまふまでは、たらふく食はせちやならないぞ。腹が満くなりや罔なんか見返らなくなるからな。もう一つ、飼主のいふまゝに、命ずるまゝになるやうに、馴らす法がある。それは例のじたばたしていふことをきかん鳶なぞを馴らす法だ、すなはち少しも眠さんやうにしとくのだ。奴けふはまだ何にも食はずだが、まだ何にも食はせないぞ。昨夜はまんじりともしなかつたが、今夜も眠かさないぞ。食物に於ける如く、寢床の準備に關しても、何か無理に越度を見附けて、枕や枕下敷や蒲團や敷布を投散してくれよう。さうしてさういふ亂竹騒ぎは、みんな彼女を思ふ餘り、敬する餘りだといふ風にいふ。つまり、終夜眠かすまい。若し居眠りでもすりや、怒鳴つたり我鳴つたりして、其聲で、始終起こしておかう。これが所謂深切を以てして妻を殺すの法といふ奴だ。かうして彼女の氣ちがひめいた剛情や我儘を制御してくれよう、が

尙これ以上に巧妙に悍馬を馴らす法を御ぞんじの方は、おつしやつて下さい。お教へ下さるのは慈善です。

入る。

第二場 バデュア バプチスタの邸の前

ルーセンシオに扮したるツラニオと樂師に假裝したるホオテンシオと出る。

ツラ
リキオさん、ビヤンカさんが此ルーセンシオ以外の者に惚れるなんてことが有り得るでせうか？ あの嬢さんのわたしへの待遇は頗る頼もしさうに見えるんですが。

ホオ
只今お話ししたことをお疑ひならば、傍にゐて、あの男の教授ぶりを御覽なさい。

此時ビヤンカとルーセンシオと睦じさうに何か話しつつ、出る。
二人のゐるのに氣の附かぬ體である。

ルー
お嬢さん、お読みになつたことがよくお分りになりましたか？

ビヤン
先生、今お読みになりましたのは何？ それを御解答遊ばして頂戴。

ルー
読みましたことは私の専門にしますことです。戀愛術です。

ビヤン
ほんたうにその術の教師なんですの、あなたは？

ルー
お嬢さんが熱心に眞面目にわたくしの相手になつて稽古して下さればです。

ツラニオとホオテンシオは一隅に退いて此問答を立聞きしてゐる。

ホオ

とん／＼拍子に御昇級だ！……さ、どうです、これでもあなたはビヤンカはルーセンシオ以外のだれをも愛してゐないといへますか？

ツラ

お、呆れ果てた浮氣者です。少しも信ぜられないのは女心です！
キオさん、全く呆れ果てましたよ。

ホオ

もう誤解を解きませう。わたしはリキオといふ者ではないのです。音楽者になつてゐるのは假装です、立派な紳士を捨て、あんな屁ッ銚野郎を神さま扱ひにするやうな馬鹿娘のためにこんな装をするのは、もう止めます。わたしはホオテンシオといふ者です。

ツラ

ホオテンシオさんですか！ あなたが非常にビヤンカさんを思つておいでの事は折々聞いてゐました。此肉眼であの娘の輕薄を見た以上、あなたも其氣なら、共に永久に、誓つて、あの女を捨てませう。

ホオ

(二方を見て)御覽なさい、キッスするやら、機嫌を取るやら……ルーセンシ

ツラ

オさん、握手しませう、さうしてもう決してあれの愛を望まない、誓つて捨てる、今日まで戀慕つて、ちやほやいつてたやうな價値は誓つてない女だと斷言します。

ホオ

さうしてわたしも同じく、偽らざる誓約をします、決して彼女とは結婚しないといふ、たとひ如何に歎願して來ようとも。汚らばしい奴だ！ 御覽なさい、どうです、あの男の御機嫌を取つてゐる様子はり！

あの男以外の者は、悉くあの女を見返らないことになればいゝ！ わたしはです、たしかに此誓約を守るといふ證據に、三日と経たんうちに、ある金持の未亡人と結婚します、その女はわたしを、もう久しい間、思つてゐるんです、わたしがあの高慢ちきな、いやに人を見下げる賤婦を思つてたやうに。……では、さやうなら、ルーセンシオさん。顔の綺麗なのよりも性質の深切なのに、わたしは心を引かれます。わたしは今誓つた通りを實行しよう

と決心しつゝ、お別れします。

ホオテンシオ入る

ツラ

(ビヤンカの傍へ進んで) ビヤンカさん、おめでたうと申します、幸福な戀人さんといふのはあなたですよ。あなたがたのお睦じい最中を見せつけられました、ホオテンシオも自分も、すつかり断念してしまひました。ま、ツラニオさん、じやうだんばつかし。ですが、ほんとに、あの人がさういつて？

ビヤン



ツラ

全く断念しましたのです。

ルー

では、リキオの奴は厄介拂ひになつたね。

シラ

實際、あの人は、或强健な後家さんを手に入れるんださうです。すぐに求婚してさうして結婚するんだといつてました。

ビヤン

どうかおめでたく運びますやうに。

ツラ

巧妙に飼馴すんでせうよ。

ビヤン

あの方もさういつてよ。

ツラ

實際、その飼馴らし學校といふのへやつていつたのです。

ビヤン

飼馴らし學校？ ま、どこかにそんなところがあつて？

ツラ

ありますとも。ペトルキオさんが先生でして、いろんな變妙來な藝當を教へまさア、悍馬でも何でも、すつかり馴らしつけられてしまつて、どんな喋舌る口だつて封じ込められてしまひまさア。

ピオンデロー出る。

ピオン お、旦那、旦那、あんまり長く見張役を勤めてゐたんで、すつかり犬くたびれに疲れてしまひました。が、やつと一人、金貨爺さんのお役に立ちさうなのが山から降りて来るのを目附けました。

ツラ ピオンデローどん、何だい其男てのはり？

ピオン 旦那、よくは分りませんが、商人か田舎學者かです。とにかく、身装は几帳面で、顔附、歩調はたしかに親父式です。

ルー ツラニオ、其男をどうしようといふんだ？

シラ 若し其男がわたくしのいふことをうまく信用しますれば、そいつを説いて、ギンセンシオさまに假装させて、バプチスタさんに例の保證をさせます。……お嬢さんをそつちへお連れなさいまし、わたくしどもだけ残しといて。ルーセンシオとピヤンカと入る。

村學 究出る。

村學 (ツラニオに) 御機嫌よう！



ツラ あなたにも！ ようこそ。

村學 遠方へお出向ですか？ 或はこゝがお出向先ですか？

ツラ もう一二週間で出張先へ参るんですが、又それから更に羅馬へ参りまして、そ

ツラ れから又ツリポリへ参ります、壽命があれば。お國はどちらですか？

村學 マンチュアです。

ツラ マンチュアですか？ やれ〜！ それで此バデューアへおいでなすつたのですか、命知らずに？

村學 (駭いて) 命知らずに？ とゞどういふわけで？ そりやけしからんこつてす。

ツラ マンチュア人で以てバデューアへ來なざるのは、全く命がけですぞ。御ぞんじないのでですか？ あなたの國の商船は近ごろは悉皆エニスに止まつてますぜ。當國の殿さんはあなたの國の殿さんと何か仲たがひの結果、公然その事を廣く宣言なすつた次第です。最近に來なすつたからだが、さうでなけりや此宣告を聞傳へておいでなさらんてのは不思議です。

村學 やれ〜、そりやわたしに取つては人一倍の災難だ！ わたしはフロレンスから爲替を持つて來てる、それをこゝで渡さなけりやならんのだに。

ツラ かうつと、お氣の毒だから、斯うしませう。何とかして御便宜を圖つてあ

村學 あります、ビザへはたび〜參りました。ビザの市民たちは眞面目だといふので有名です。

ツラ その市民ちうにギンセンシオといふ人があるのを御ぞんじですか？

村學 會つたことはありませんが、名前は知つてゐます。竝ぶ者のない豪商です。

ツラ 彼れはわたしの父ですが、父の顔附は、實際、あなたによく似てゐます。

ピオン (傍自) 林檎が牡蠣に似てるやうにだ、そりやどうでもいゝこつたが。

ツラ 此差迫つた場合に於て、どうかしてあなたの一命をお助けしたいと思ふのですが、ともかくも、あなたが父のギンセンシオに似ておいでなさるといふのは、幸運だといつていゝでせう。かうなさい、すつかりわたしの父に

成り切つて、名前をも信用をも代表して、わたしの宅へ同居なさい。如何にも其人らしくお振舞ひなさい。分りましたか？ さういふ風にして、御用の済むまで此市に御逗留なさるがいゝ。これを好意だと思ひなさるなら、その通りになさい。

村畢

いや、どうも有りがたうございます。あなたをば命の親とも一身の保護者とも存じます。

ツラ

ちや、御一しよに往つて、其手筈をしませう。序でに言つときますが、わたしの父は、毎日のやうに、此市へ来るのを待受けられてゐるのです、結婚資金のことで、此市のバプチスタといふ人の女とわたしとの間の契約の保証をする一件で。すべてさういふ事情をいゝお話しませう。ま、ともかくも、あつちへ往つて、あなたの身装を其人らしくしませう。

みなくはり
皆々入る。

第三場 ペトルキオの家の一室

カサリナとガルミオと出る。

ガルミ いゝえ、どういたしまして。とてもわたくしには、さういふことは出来ません。

カサリ

わたしを酷い目に逢はせれば逢はせるほど、尙と意地わるをなさるとしか思はれない。飢え死させるためにわたしを迎へなすつたのと思はれない。わたしのお父さんの宅の玄關前へ来て、どうぞや何かといふ乞食だつても、すぐと何か貰ふんです、でなきや、どツこかで、何か知ら施して貰ひます。それなのに、わたしは、今まで曾ぞ頼むだの、願ふだのといふ

とを知りもしなけりや、夢にもそんな必要なんか感じたともなかつたわたしが、何にも食べないから、飢えて死にさうだし、ちつとも眠ないから、頭がぐらくして、目が舞ひさうです。夜になりや、我鳴られ通しの起され通し、三度の食事の代りに、家中の者をおみくくと叱り通し。一等いやアな氣持のするのは、さうするのをわたしを愛するが爲のやうに、恩に掛けられることです。ちつとでも眠たり食べたりすれば、それが、わたしの爲には、非常な有害なところもあり、或は直にも死ぬ原因でもあるやうにいはれることです。ねえ、頼むから、何か食べるものを持って來とくれ。何でもいゝから、毒でないものなら。

グルミ

牛の足なんかはいかゞでございませう？

カサリ

非常にけつこうよ。どうぞそれをおくれな。

グルミ

ですが、ありやあんまり刺戟が強くて、よろしくござんすまい。胃腑を好

い鹽梅に煮附にしましたのは、いかゞでござんせう？

カサリ

大好き。グルミオさん、それを持って來とくれ。

グルミ

さア、いかゞでせうか？ やつぱり逆上せるから、お毒ぢやないでせう

か？ 牛肉一片と芥子ぐらゐぢやどうでせう？

カサリ

一等好きなものなの。

グルミ

ですが、芥子は刺戟物ですなえ。

カサリ

ぢや、牛肉だけにして芥子はよしませうよ。

グルミ

ぢや、持つて來られませんかや、芥子附きでない牛肉なんかグルミオが持つ

て來るわけにやいきませんかね。

カサリ

ぢや、兩方ともでもよし、一方だけでもよし、何でもいゝから、お前のいゝ

やうにしてさ。

グルミ

ぢや、牛肉は止して、芥子だけにしませう。